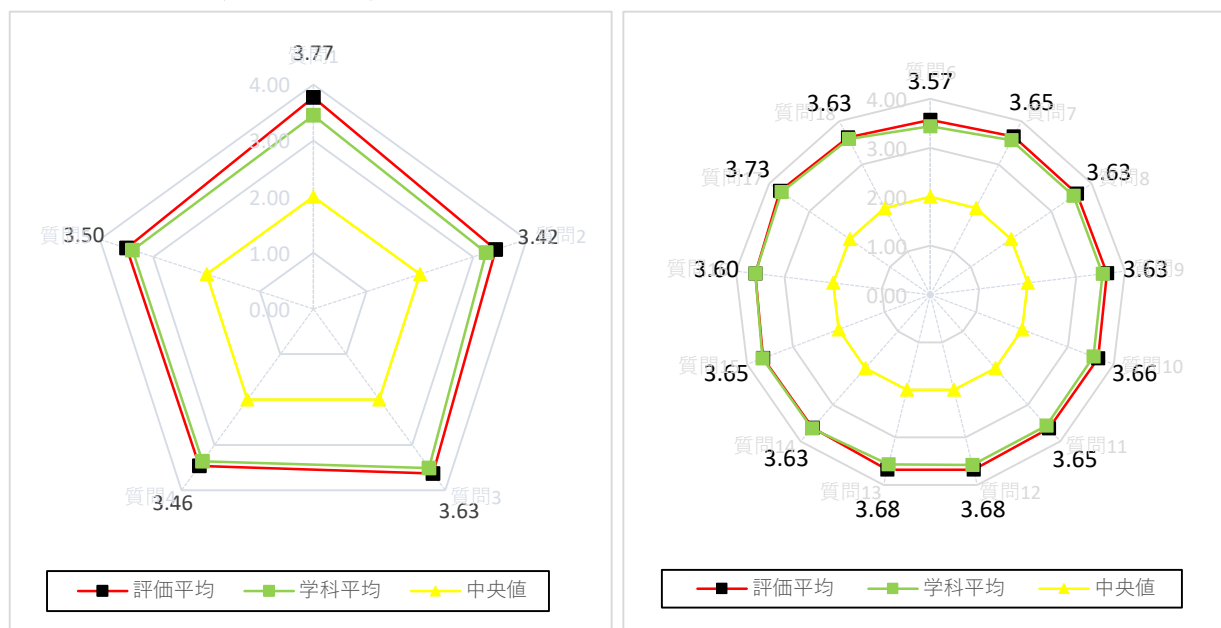


学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部 健康福祉学部 リハビリテーション学部	健康栄養 社会福祉 リハビリテーション		関連職種連携入門	178名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

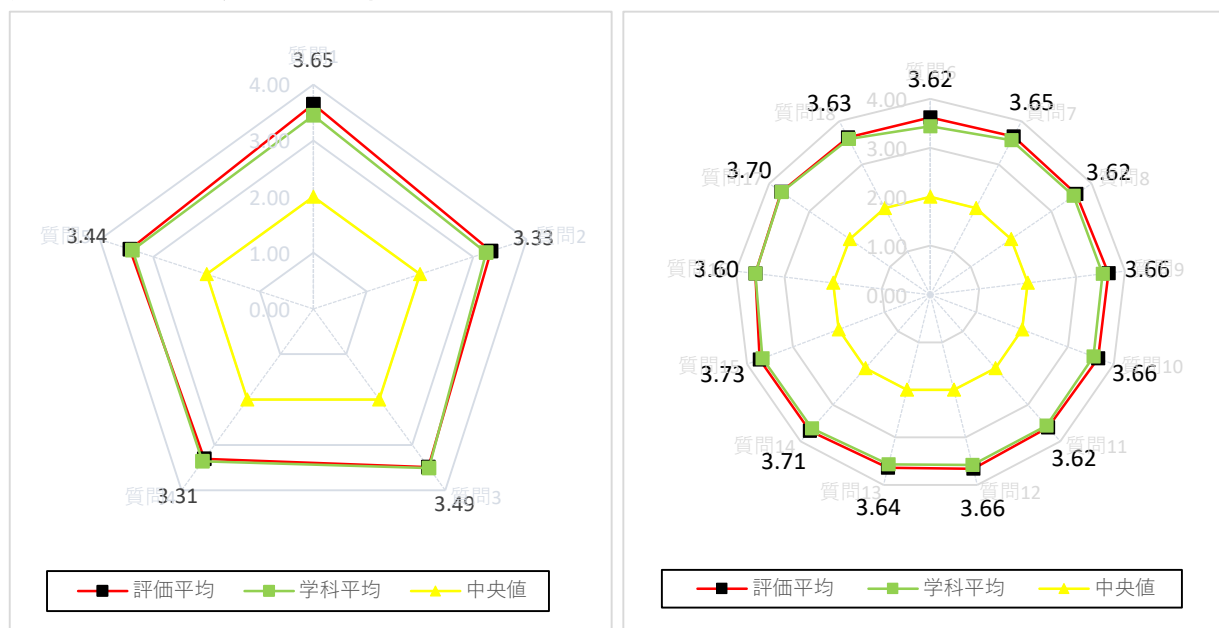
授業評価アンケートの回答率は93.8%であった。大半の質問項目において、共通教育科目全体平均を上回っていた。自由記述でも、「違う学部がどのようなことを学んでいくのか、どういう仕事なのかを知ることでお互いが理解し合える。」や「自分が目指す専門職以外の職種の説明を、実際その専門職である他学科の教員から講義を受けられるのが良かった。」というポジティブな評価が多かった。1年生前期という時期に本科目を開講することはメリットが大きいと考えた。一方で、質問14が共通教育科目全体平均を下回っていた。Microsoft Teamsによる遠隔講義であり、教員への質問手段が難しいことが要因と推察する。

### (3) 次年度に向けての取り組み

学生が質問や意見を行いやすい環境を整えるため、Microsoft Formsなどを活用していく。また、レスポンスはMicrosoft Teamsチャットやメールを活用し、必要に応じて個別や全体に行っていく。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部 健康福祉学部 リハビリテーション学部	健康栄養 社会福祉 スポーツ健康福祉		脳と認知科学	177名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

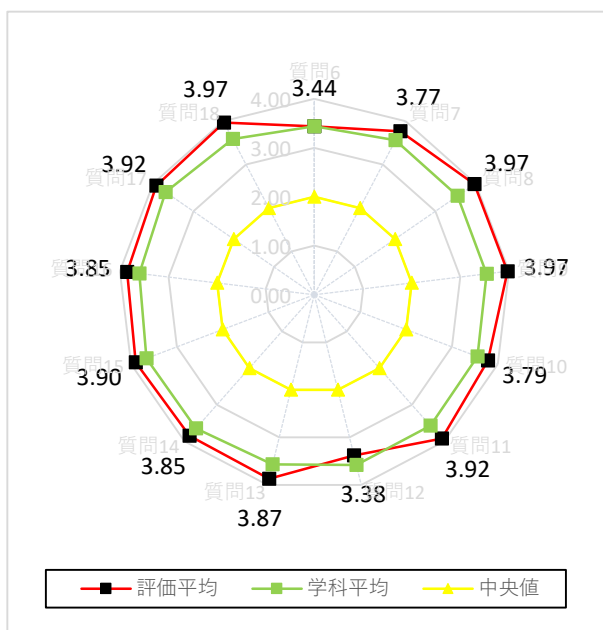
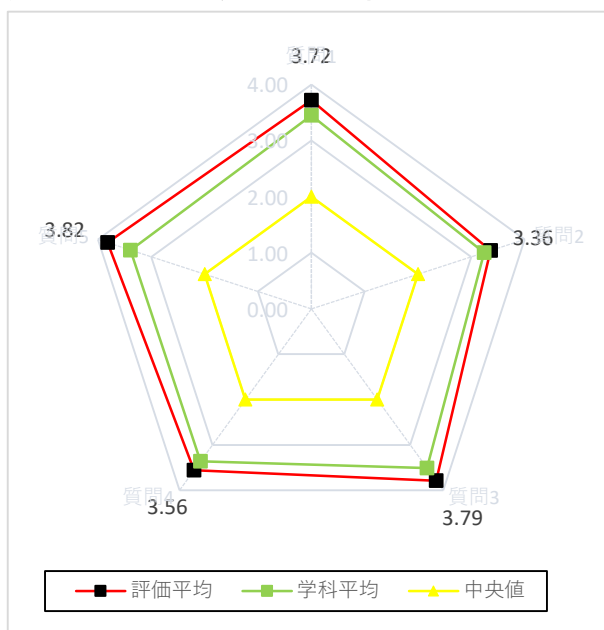
全体を通じて、どの質問項目も平均値とほぼ等しい結果であった。本講義は全学共通科目であり、遠隔ではあるが、対面授業と同等に学生の満足度が得られたのではないかと考える。

### (3) 次年度に向けての取り組み

例年同様、遠隔授業として実施予定であるため、スライドの見やすさに気をつけ、アクティブラーニングを取り入れる等、工夫した授業展開を心がけたいと考える。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部 健康福祉学部 リハビリテーション学部	健康栄養 社会福祉 スポーツ健康福祉		くらしと経済	98名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

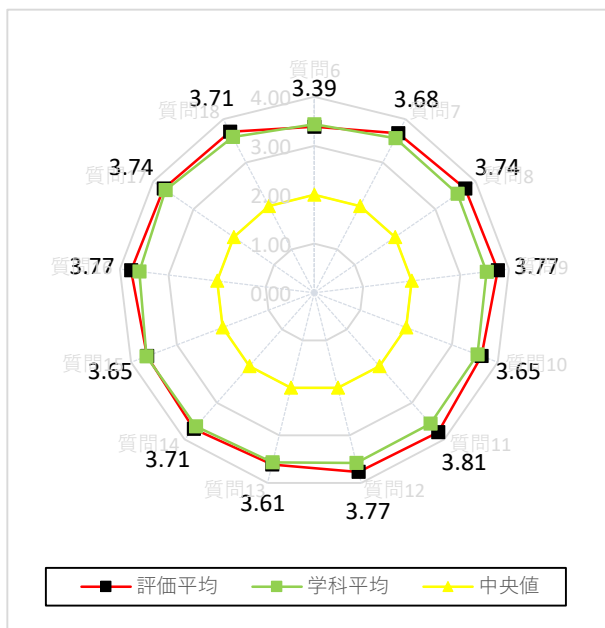
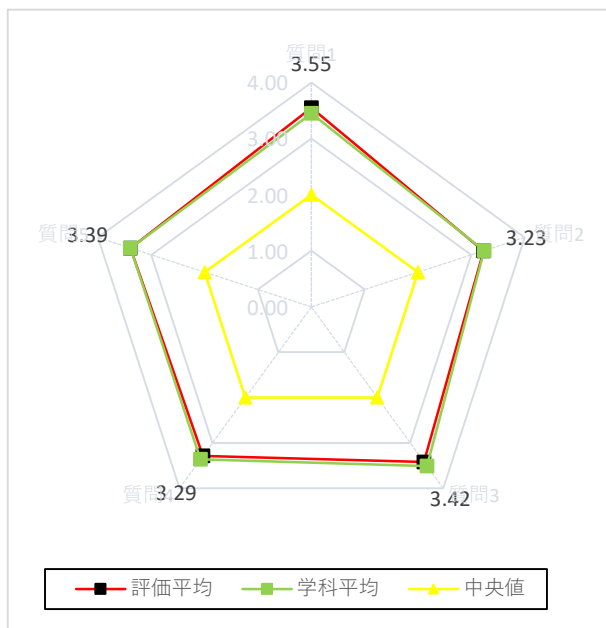
授業評価の結果は、概ね学科平均に収斂するものとなったが、特定の項目では学科平均を下回るものもあった。これは今後改善していくべき課題であり、工夫していきたいと考える。学科平均との比較があることによって課題が明確になるので、分析結果はとても参考になる。授業評価は、学生諸君の意見を直接聞くことのできる稀有な機会であり、授業の改善に大いに役立つものとする。くらしに役立つ経済の知識を習得していくことが授業の狙いであったが、授業評価から鑑みてこれはある程度達成できているものとする。

### (3) 次年度に向けての取り組み

シラバスの説明についての項目に関してはやや評価が低かったが、これはもう少し時間をさいて、丁寧に説明したいと思う。初回の授業で話してはいるのだが、多岐におよぶ項目で、理解しにくいのかかもしれないと思われる。したがって、今後は論点をしぼって、わかりやすく説明したいと思う。さらにシラバスそのものを使用しつつ説明を加えていきたいと思う。次年度においては、わかりやすい資料の作成と説明をさらに向上させていきたいと考えている。そして、学生諸君が経済に関する知識をできるだけ増やせるように全力で取り組んでいきたい。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部 健康福祉学部 リハビリテーション学部	健康栄養 社会福祉 スポーツ健康福祉		身近な生活の化学	91名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

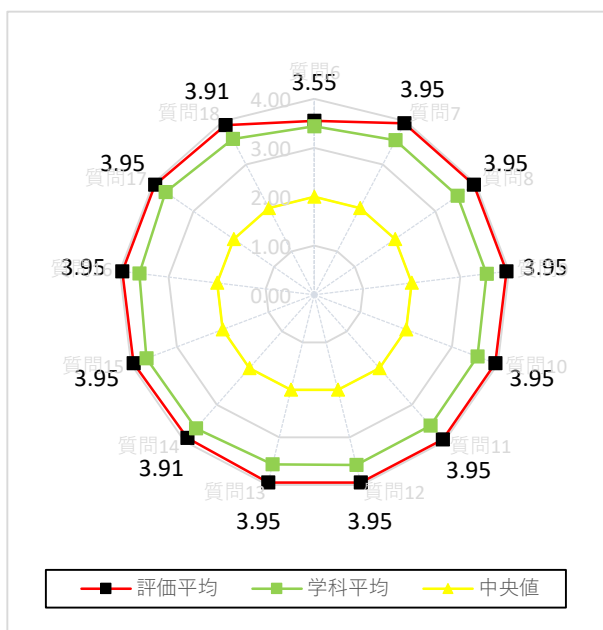
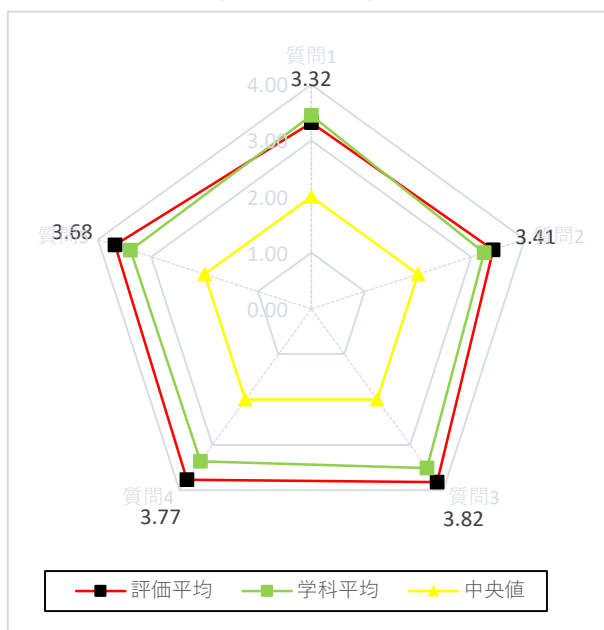
学生による授業評価においては、ほとんどの項目で学科平均よりも少し高い評価であった。特に、質問8「授業は興味・関心が持てる工夫がされていたか」、質問9「授業は分かりやすくする工夫がされていたか」、質問11「教科書・配布資料等は役に立ちましたか」が学科平均よりも高い評価であった。総合評価は3.71と高いレベルであった。この授業は、教養の科目で、オンラインで行う授業である。文系の学生の受講も多いので、レベルを合わせるのが難しい。できるだけ、身近な例を取り上げて化学に興味を持たせたり、パワーポイントを見やすくする工夫を行った。また、学生に配役を決めて会話部分を読ませたりして、一方的な授業にならないようにした。自由記述欄には、「パワーポイントの内容が非常に分かりやすく教科書以外の事例も取り上げてくださったのでイメージがしやすかった。」との記述があった。このように、努力の結果が高い評価につながり、とてもうれしく思っている。

### (3) 次年度に向けての取り組み

今年度の評価が高かったことから、次年度も同様なやり方で行うこととする。ただし、今年度の自由記述に、「グループディスカッションなどの深める学習も取り入れて欲しいです。」という要望もあったことから、次年度は、グループディスカッションの時間を取り入れてみたい。オンライン上で難しいかもしれないが、チャレンジしたいと思っている。多くの学生が化学を毛嫌いしているが、身近に化学があふれていること、それが現代の便利さにつながっていること、一方で環境問題を引き起こしていることなどを考えさせるよい機会としたい。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		公衆衛生学 I	97名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

#### (2) 結果の分析と評価 (300~500字程度)

- ・ 学科平均との比較：すべての項目で学科平均を上回っている。
- ・ 特に低（高）い項目についての考察：こんなもんだらうと思っている。
- ・ 自由記述についての分析と評価：「月曜日の授業の中で一番がんばれた」というのは高い評価だと思う。机が狭いというのは、私にはどうすることもできない。
- ・ 本授業の目標、ねらいと照らし合わせた分析と評価：狙い通りである
- ・ 授業全般に対する反省点：さらに授業内容を精査し、わかりやすい授業をめざしたい。
- ・ 回答率が低かった理由 など：90分?15回は、ゴールに国家試験を控えている科目としては1分1秒たりともおろそかにできない。国家試験の範囲をカバーするのにタイトなスケジュールである。授業時間外での回答を依頼しているため回答率が低くなったと思われる。

#### (3) 次年度に向けての取り組み

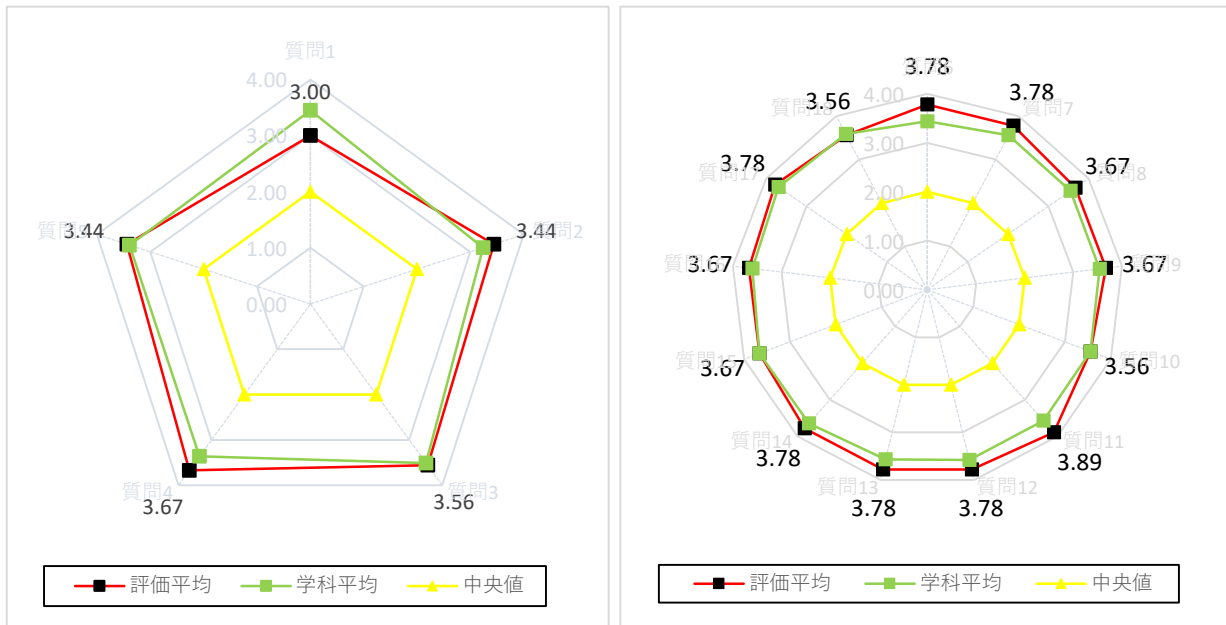
- ・ (1) の授業評価結果で特に低かった項目に対する改善方法：努力する。
- ・ (2) の授業全般の反省点に対する取り組み方法：努力する。
- ・ 令和5年度に新たに導入したいと思っている：とくにない。
- ・ 授業評価そのものに対する意見を含んでも可：

### (3) 次年度に向けての取り組み

学生のレベルを見極めて、彼らのレベルからスタートし、最終的には国家試験合格レベルまで見据えた授業をきちんとやり、最終的には8割の1年生が国家試験問題を解けるレベルまで到達させます。そのために必要な準備（料収集、小道具作成等）を行い、「おもしろかった」「ためになった」と言われるような授業、誰一人寝かせない授業をめざします。これまで同様です。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		健康栄養学セミナーⅡ	28名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

全質問項目について、学科平均と大きな差は認められないが、授業の欠席について（質問1）について、学科平均より悪く欠席が多かった。

授業の方法、内容については特に問題なかったと考える。

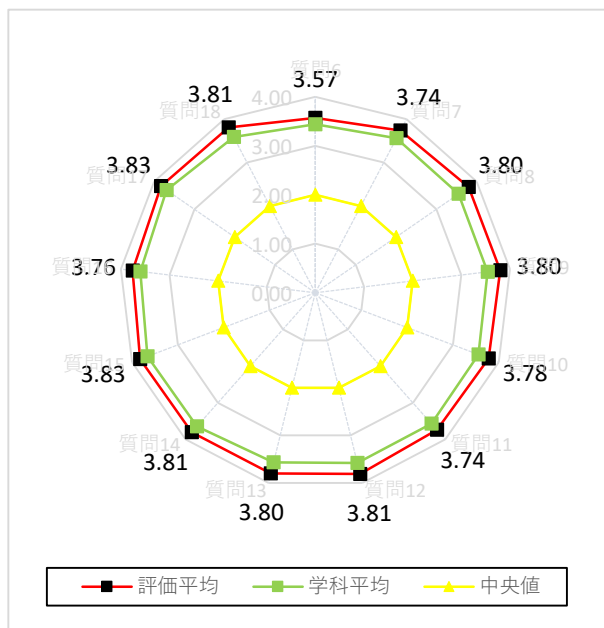
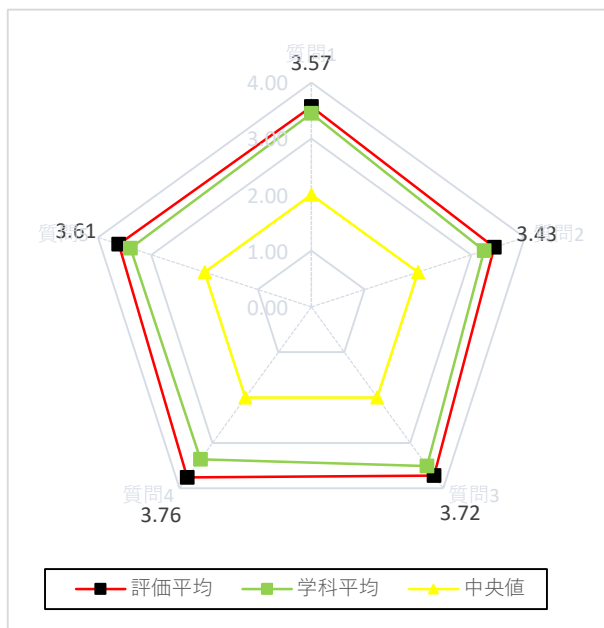
セミナー（演習授業）のため、グループ活動が多く、積極的に活動に参加できなかった学生も多くいたと感じている。

### (3) 次年度に向けての取り組み

この授業は今年度で開講が終了

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		公衆衛生学Ⅱ	89名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

#### (2) 結果の分析と評価

##### ・学科平均との比較

すべての項目で学科平均を上回っている。

##### ・特に低（高）い項目についての考察

評価はこんなもんだらうと思っている。

##### ・自由記述についての分析と評価

「月曜日の授業の中で一番がんばれた」というのは高い評価だと思う。机が狭いというのは、私にはどうすることもできない。3人がけではなく2人がけにしてほしいとのことであるが、そうなると後方席までつかわねばならない。学生の集中力が下がるので使うのは難しい。

##### ・本授業の目標、ねらいと照らし合わせた分析と評価

狙い通り。

##### ・授業全般に対する反省点

さらに授業内容を精査し、全国で一番わかりやすく、国家試験に直結した公衆衛生学の授業をめざしたい。

##### ・回答率が低かった理由 など

授業時間外での回答を依頼しているため回答率が低くなったと思われる。

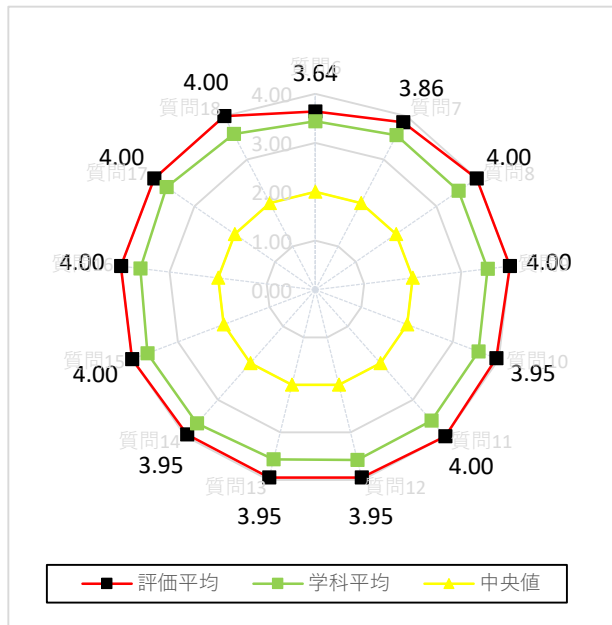
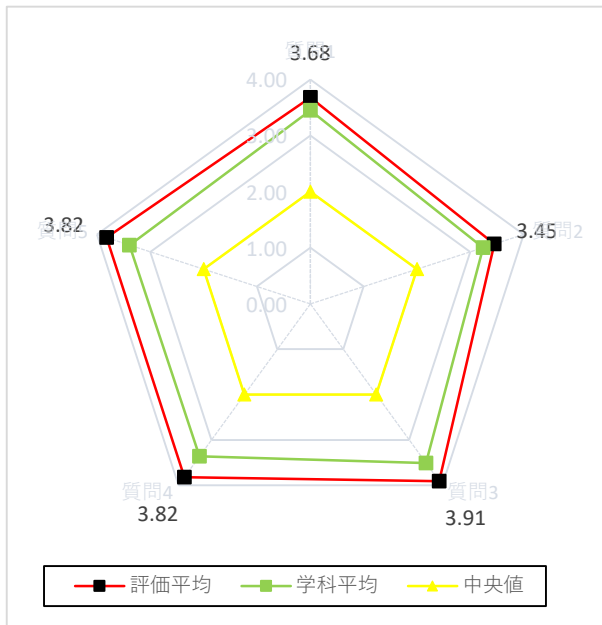
#### (3) 次年度に向けての取り組み

学生のレベルを見極めて、彼らのレベルからスタートし、最終的には国家試験合格レベルまで見据えた授業をきちんとやり、最終的には8割の1年生が国家試験問題を解けるレベルまで到達させます。そのために必要な準備（料収集、小道具作成等）を行い、「おもしろかった」「ためになった」と言われるような授業、誰一人寝かせない授業をめざします。これまで同様です。

学生は面白い（興味深い）授業だったら寝ないし、授業への眼差しは真剣である。ホワイトボードを拭いてくれて、たのみもせぬのに授業の感想を述べてくれることが15回続いた。アンケートではない一番の評価を買っている。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		公衆衛生学Ⅲ	91名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

#### (2) 結果の分析と評価

##### ・学科平均との比較

すべての項目で学科平均を上回っている。

##### ・特に低（高）い項目についての考察

評価はこんなもんだろうと思っている。

##### ・自由記述についての分析と評価

「月曜日の授業の中で一番がんばれた」というのは高い評価だと思う。机が狭いというのは、私にはどうすることもできない。3

##### ・本授業の目標、ねらいと照らし合わせた分析と評価

狙い通りである。

##### ・授業全般に対する反省点

さらに授業内容を精査し、全国で一番わかりやすく、国家試験に直結した公衆衛生学の授業をめざしたい。

##### ・回答率が低かった理由 など

授業時間外での回答を依頼しているため回答率が低くなったと思われる。

#### (3) 次年度に向けての取り組み (300~500字程度)

##### ・(1)の授業評価結果で特に低かった項目に対する改善方法

さらに高い評価を得られるように努力する。

#### (3) 次年度に向けての取り組み

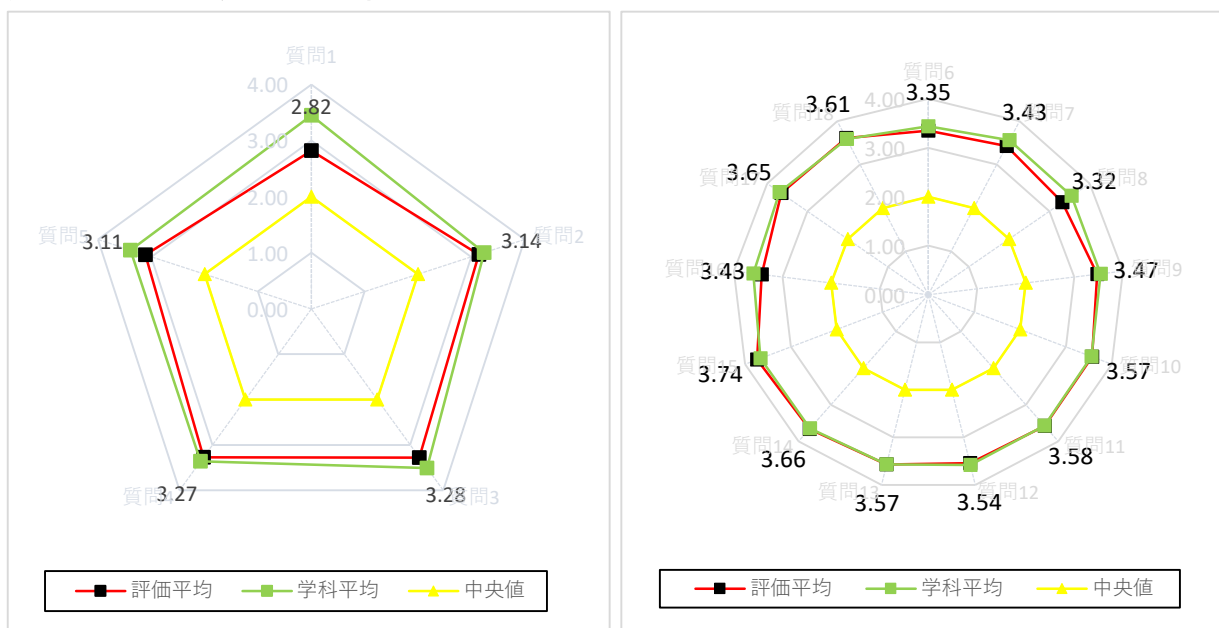
データは毎年アップデートし、事前に万全の授業準備をし、進め方のストーリーを組み立てて、「絶対、居眠りをさせない」授業をめざしている。学生は面白い（興味深い）授業だったら寝ないし、授業に対する笑い声此起彼伏、驚いて目を見張ったり、いっしょにホワイトボードを拭いてくれて、たのみもせぬのに授業の感想を述べてくれる。これが一番の授業評価だと思う。

学生のレベルを見極めて、彼らのレベルからスタートし、最終的には国家試験合格レベルまで見据えた授業をきちんとやり、最終的には8割の1年生が国家試験問題を解けるレベルまで到達させます。そのために必要な準備（料収集、小道具作成等）を行い、「おもしろかった」「ためになった」と言われるような授業、誰一人寝かせない授業をめざします。これまで同様です。



学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		食品学	97名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

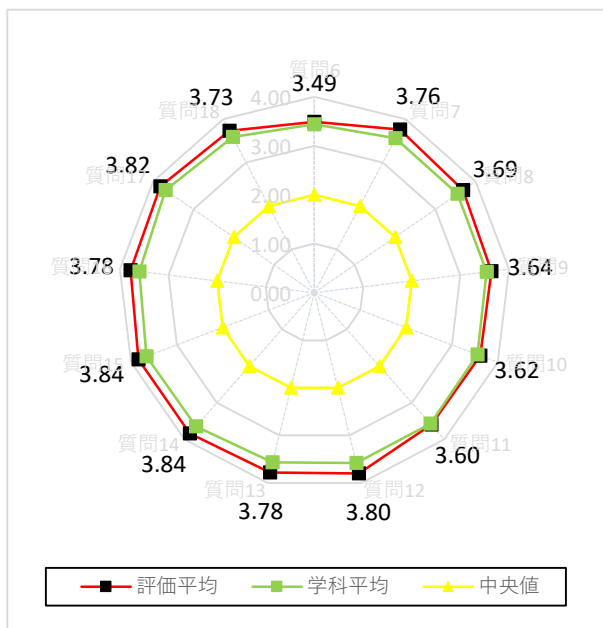
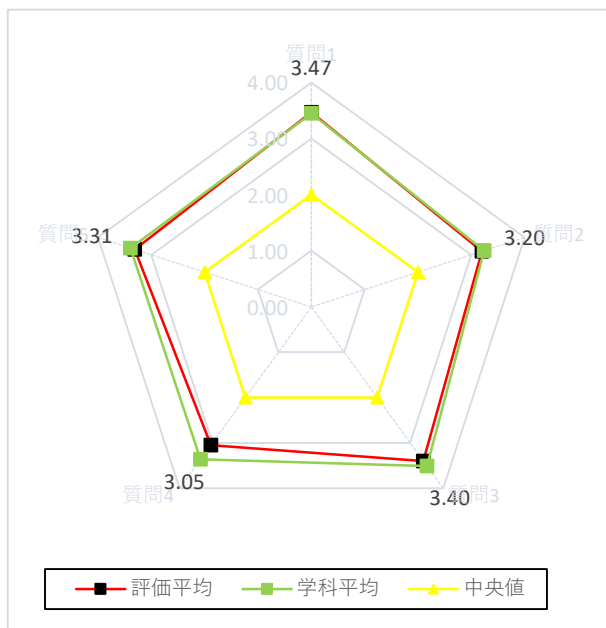
食品学の授業評価においては、項目1から14までのすべてにおいて学科平均とほぼ同じであった。総合評価の質問18において平均は3.6であり、概ね学生は満足していると思われる。特別良いところもないが、授業への関心や分かりやすさの項目において、少し難解であったと学生が感じているところがあるかもしれない。いずれの項目においても学科平均とほぼ同じであったが、年によって学生の平均的な学力やバラツキ度合いが変わるので、今後の改善の余地があると考えている。本授業は専門科目の中では基礎的な分野であるが、国家試験に向けては大切な科目の一つでもある。多くの学生は、国家試験の為だけではなく、食品に関しては興味関心を持っているはずであるので、そういった授業にしていく必要がある。

### (3) 次年度に向けての取り組み

食品学の授業評価においては、特に大きな課題は無いようであった。対面授業なので、対面の有効性に対応した授業内容への改善が必要である。学生の中には明らかに理解ができていない者や理解に苦労している者も見られた。食品学の基本的な知識において、より丁寧な説明が必要であると感じている。また、前年度も小テストや課題プリントを実施したことは良かったと思うので、より試験勉強に直結するように小テスト、課題、定期試験をリンクさせて臨みたいと考えている。また、学生が授業に能動的に参加するような授業となるように、ホワイトボードやパワーポイントの使い方を考えたいと思う。授業が月曜日のI限であったせいか、出席状況が思わしくない学生がいたので、出席の重要性を訴える必要がある。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		公衆衛生学実習	61名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

#### 2) 結果の分析と評価 (300~500字程度)

・ 学科平均との比較 (共通教育科目については共通教育科目全体平均との比較)

学科平均を上回っているか同程度である。

・ 特に低 (高) い項目についての考察

特になし。評価はこんなもんだらうと思っている。

・ 自由記述についての分析と評価

なし

・ 本授業の目標、ねらいと照らし合わせた分析と評価

狙い通りである。

・ 授業全般に対する反省点

さらに授業内容を精査し、全国で一番わかりやすく、国家試験に直結した公衆衛生学の授業をめざしたい。

・ 回答率が低かった理由 など

授業時間外での回答を依頼しているため回答率が低くなったと思われる。

#### (3) 次年度に向けての取り組み (300~500字程度)

・ (1) の授業評価結果で特に低かった項目に対する改善方法

さらに高い評価を得られるように努力する。

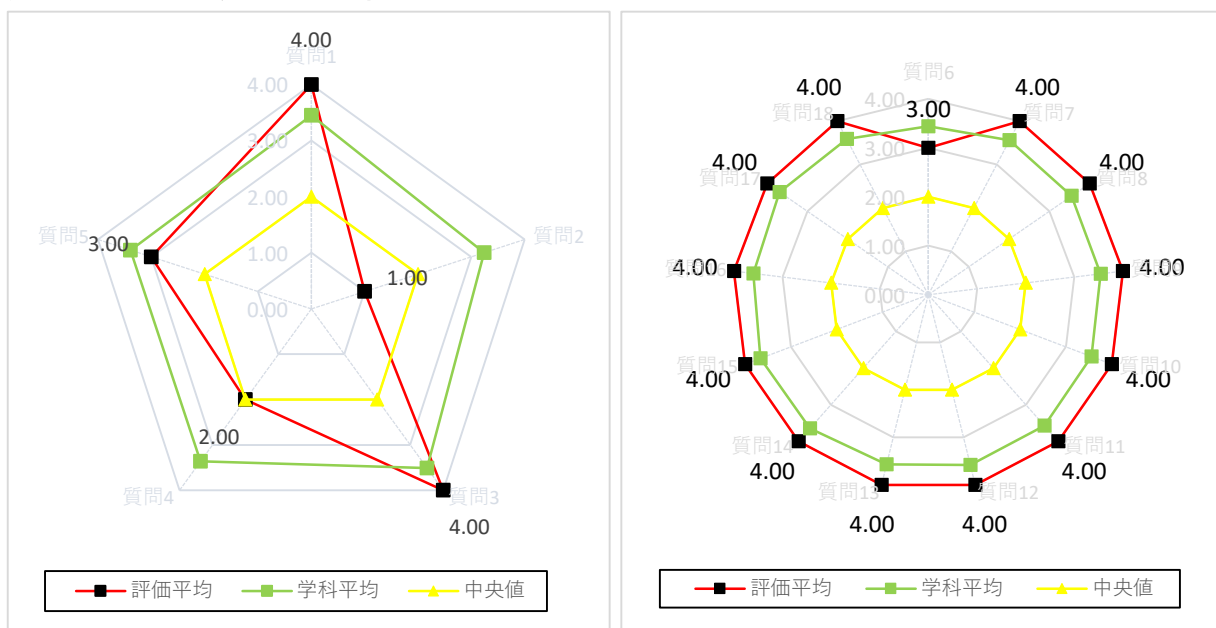
・ (2) の授業全般の反省点に対する取り組み方法

### (3) 次年度に向けての取り組み

学生のレベルを見極めて、彼らのレベルからスタートし、最終的には国家試験合格レベルまで見据えた授業をきちんとやる、そのために必要な準備 (他大学の実験実習の情報収集、必要な小道具作成等) を行い、「おもしろかった」「ためになった」と言われるような授業、演習をめざします。これまで同様です。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		公衆衛生学実習	30名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

#### 2) 結果の分析と評価 (300~500字程度)

・ 学科平均との比較 (共通教育科目については共通教育科目全体平均との比較)

学科平均を上回っているか同程度である。

・ 特に低 (高) い項目についての考察

特にない。シラバスは活用していないため評価はこんなもんだらうと思っている。

・ 自由記述についての分析と評価

なし

・ 本授業の目標、ねらいと照らし合わせた分析と評価

狙い通りである。

・ 授業全般に対する反省点

さらに授業内容を精査し、全国で一番わかりやすく、国家試験に直結した公衆衛生学の授業をめざしたい。

・ 回答率が低かった理由 など

授業時間外での回答を依頼しているため回答率が低くなったと思われる。

#### (3) 次年度に向けての取り組み (300~500字程度)

・ (1) の授業評価結果で特に低かった項目に対する改善方法

さらに高い評価を得られるように努力する。

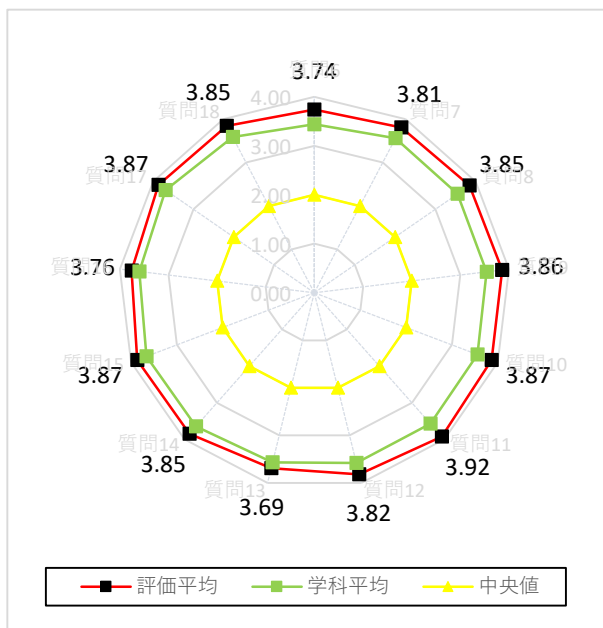
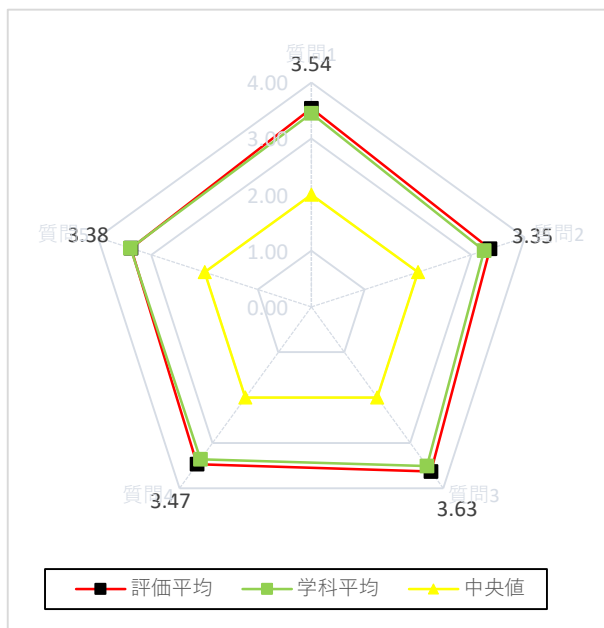
・ (2) の授業全般の反省点に対する取り組み方法

### (3) 次年度に向けての取り組み

学生のレベルを見極めて、彼らのレベルからスタートし、最終的には国家試験合格レベルまで見据えた授業をきちんとやる、そのために必要な準備 (他大学の実験実習の情報収集、必要な小道具作成等) を行い、「おもしろかった」「ためになった」と言われるような授業、演習をめざします。これまで同様です。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		調理学	101名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

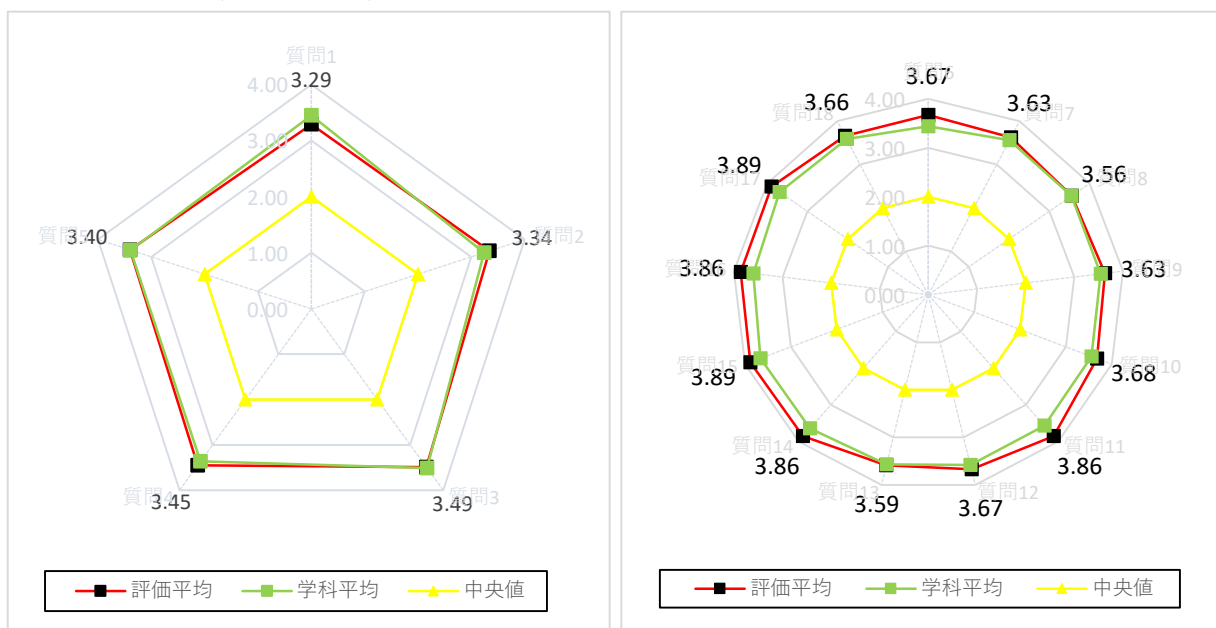
調理学の授業評価においては、すべての項目において、学科平均より少々上回る評価を得られた。おおむね満足できる内容であったと考えているが、個別コメントを見ると授業のペースが速いと回答した者もいたことから、個々の理解度や反応に配慮し、より双方向的な授業となるよう改善の余地はあると思われる。調理に関する雑学も交えつつ、国家試験にも関連する内容であることから、1年生時より国家試験問題にふれられる機会を設ける工夫をしたことは良かったと考えている。

### (3) 次年度に向けての取り組み

メモ取りの状況を含め授業スピードにおいては学生の理解度に配慮しつつ、意欲的に参加できる工夫をしていきたい。また、国家試験においては最も基礎となる科目でもあることから、より個々の理解度や反応・反復学習に配慮した授業展開になるよう意識していきたいと考えている。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		基礎栄養学	101名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

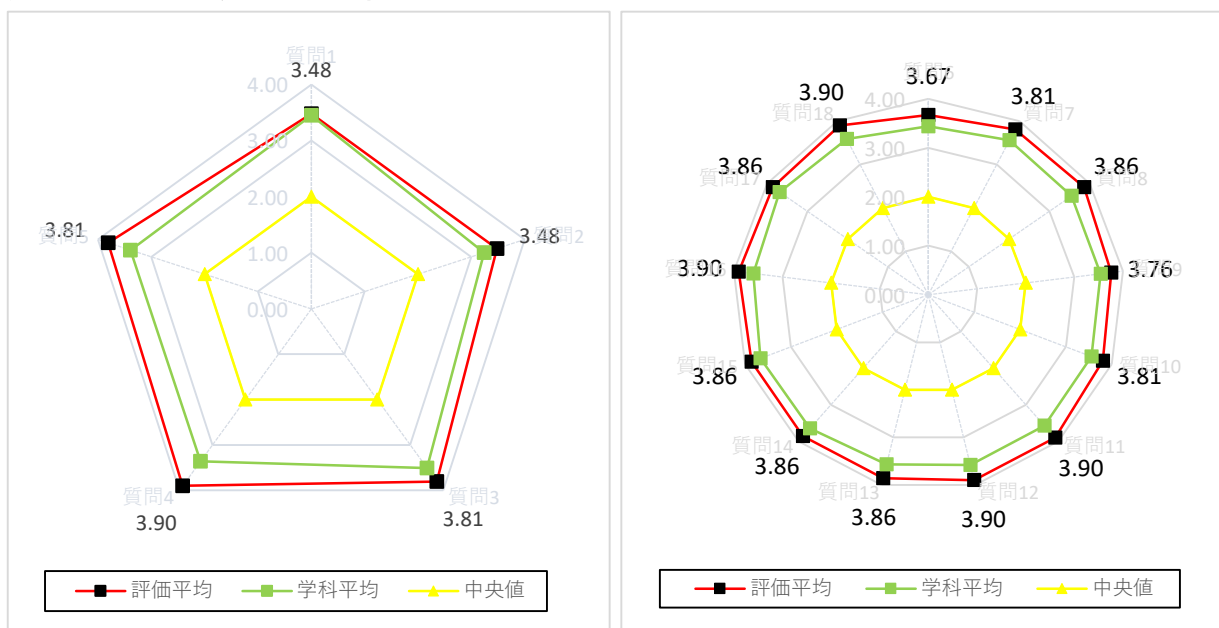
授業評価においてはすべての項目において、学科平均と同じまたは少し上回るレベルにあった。ポイントをまとめた配布資料とテキストを並行して授業を行い、配布資料はパワーポイントで示しながら授業を展開した。配布資料は分かりやすかったという声がある一方で、パワーポイントで示した文字や板書が小さく見えにくかったとの声もあり、スライドに示す情報量について考慮していきたいと思う。板書についても丁寧に示す事を心がけたいと思う。国家試験に必要な科目であり、栄養学の入り口になる科目であるので、興味・関心が持てるように身近な事例を用いつつ、説明内容に工夫をする必要があると考える。

### (3) 次年度に向けての取り組み

毎回、授業の最初に復習を行い、試験問題も復習問題の中から出題したが、定期試験においては学生の習熟度に大きな幅が見られたことから、授業展開については説明の流れを工夫し、より丁寧な説明が必要であると感じている。また、授業内容とリンクさせた練習問題を課題として実施し、解説を行うことで理解度を深めたいと思う。授業中に双方向の授業展開は難しかったが、授業後やメールで個別に質問してくれる学生も多く、課題についてももしっかり取り組む学生が多かった印象である。大講義室での授業であるためスライドに示す情報量については考慮し、見え方を工夫したいと思う。また、配布資料は括弧埋めを多用し、90分間集中して授業を受けることができるように、資料の使い方も工夫したいと思う。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		基礎栄養学実験	101名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

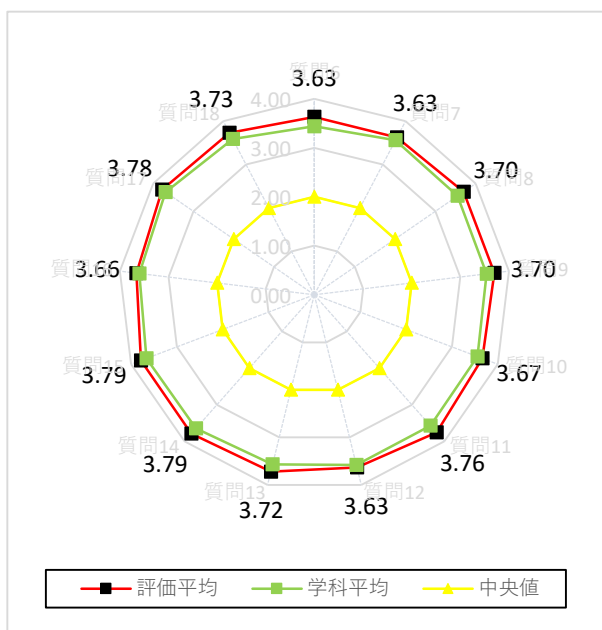
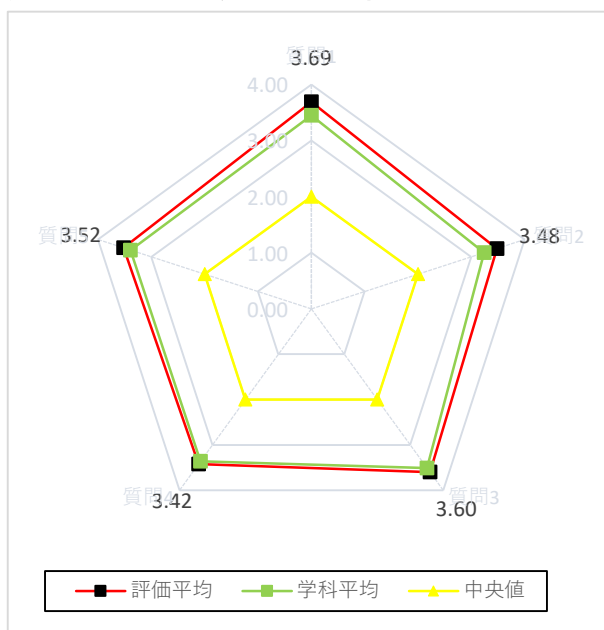
授業中に授業評価のアナウンスを怠ったため回答率が非常に低い結果となった。授業評価においてはすべての項目において、学科平均を上回るレベルにあったが、回答率が低いため、全てを反映した結果ではない。この科目は入学後初めて受講する実験であり、座学ではないという点も評価が高かった一因であるとも感じる。しかしながら、回答した学生にとっては栄養学の理解も深まり、おおむね満足できる内容であったと考えている。授業時にはグループごとに対応ができたので、作業等を確認しながら丁寧に授業を進めることが出来たと思う。この科目ではレポートを課すが、学生の自己評価も高く、各自が頑張っており取り組んだことが窺える。

### (3) 次年度に向けての取り組み

今回は授業アンケートへの回答率が非常に低いことから、全体の評価を反映したものではないと考える。授業中のアンケート実施は難しいが、回答依頼のアナウンスを丁寧に言い、回答率を上げる努力をしたいと思う。今年度は実験内容と時間配分の検討を行い、授業説明と実験実施がリンクできるように可能な限り工夫を行った。また、提出されたレポートの内容から判断すると、学生によって理解度に差があると思われる、実験の内容についてはより丁寧な説明が必要であると思われる。実験スケジュールの都合もあり、最終的なレポート提出が試験期間となってしまう、十分なフィードバックが行えなかった。この点はスケジュールの調整でなるべく改善していきたいと考える。なお、この科目は入学後に初めて受講する実験でもあるので、化学薬品や実験器具の取り扱いに留意し、事故やケガが起こらないよう細心の注意を払っていきたいと思う。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		食品学実験	84名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

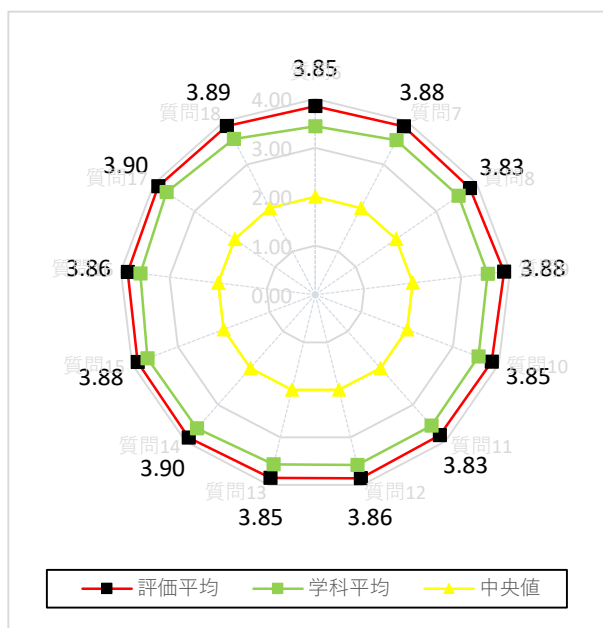
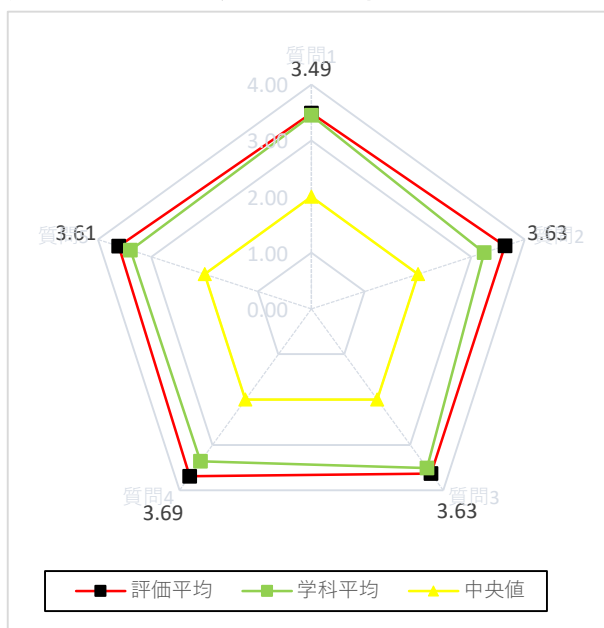
食品学実験の授業評価においては、すべての項目において、学科平均と同じレベルにあった。総合評価の質問18において、平均3.7程度でありおおむね満足できる内容であったと考えているが、改善の余地はあると思われる。化学を背景にした内容であり、計算や化学反応の理解などが、学生にとっては難解に感じることがあるようだった。実験の内容としては成分表の理解に重きを置いており、実験としてはやや面白みにかけるところがあるかもしれない。しかし、資格取得のための基礎知識としては食品学においては必須と考えるので、内容の変更は考えていない。

### (3) 次年度に向けての取り組み

化学を背景とした内容であり、計算や化学反応の理解などが、学生にとって難解に感じるところがある。この点については、説明や計算を一緒にすることなど、もう少し時間を取りたいと思っている。実験内容の部分的な変更や、できるだけ全員が主体的に取組めるような方法などを少しずつ工夫していきたいと思っている。化学実験は危険も伴うものなので、何より事故やケガが起こらないよう細心の注意を払っていきたい。また、定期試験の内容と評価についても工夫が必要と思っている。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		食事設計実習	86名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

学生の興味関心を引き出すために、様々な授業スタイルを取り入れた授業計画で実施した。また、学生の習熟度に応じて計画の調整、個別指導など柔軟な対応をしたことが、学生の修得度の向上に繋がり、高い授業評価につながったと感じている。

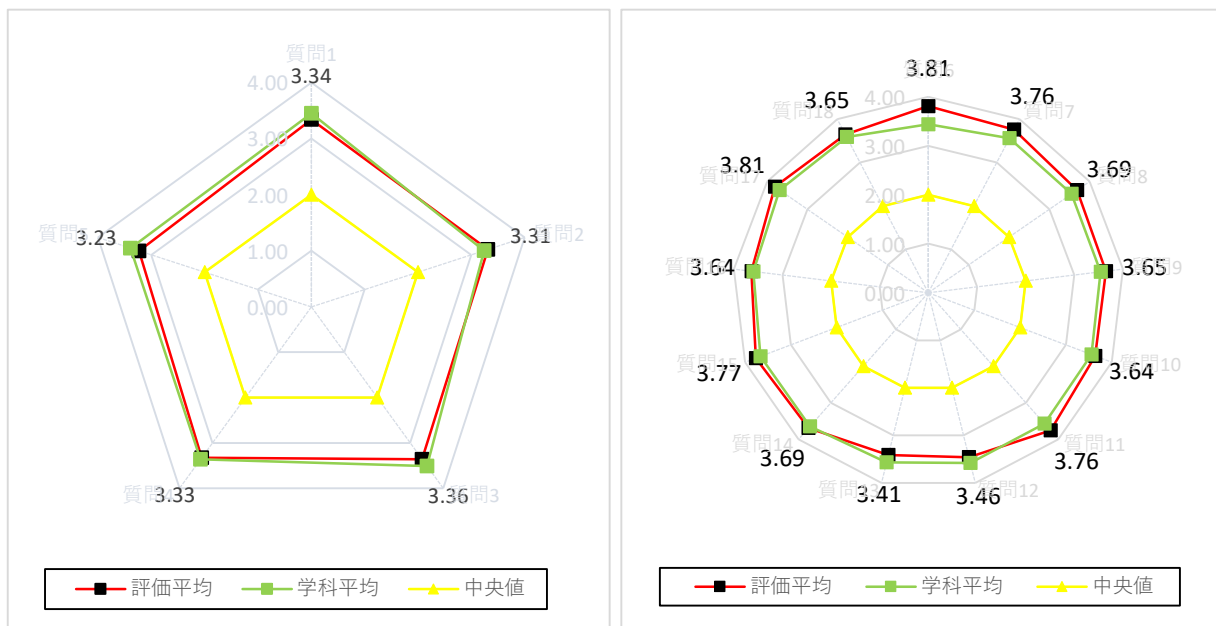
### (3) 次年度に向けての取り組み

来年度も学生の修得度および興味関心を向上させるような授業としていきたい。



学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		ライフステージ別栄養学	90名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

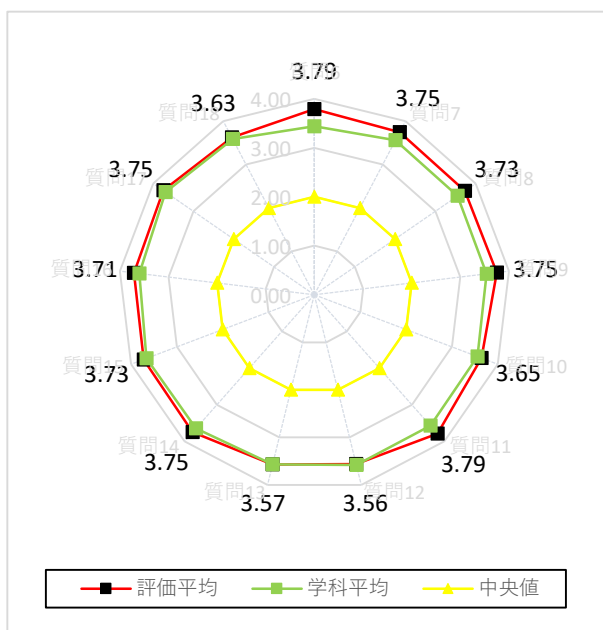
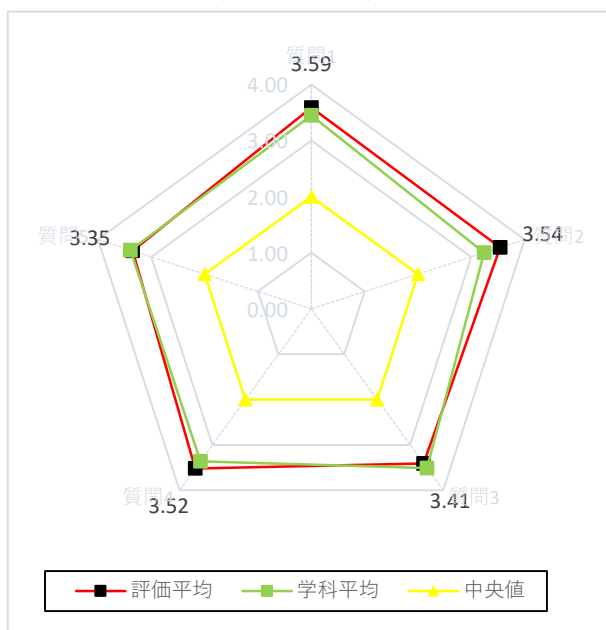
ライフステージ別栄養学の授業評価においては、すべての項目において、学科平均と同じレベルにあった。おおむね満足できる内容であったと考えているが、個別コメントを見ると授業のペースが速いと回答した者もいたことから、学生によっては理解度に差があると考えられるため、個々の理解度や反応に配慮し、より双方向的な授業となるよう改善の余地はあると思われる。

### (3) 次年度に向けての取り組み

メモ取りの状況を含め授業スピードにおいては学生の理解度に配慮しつつ、意欲的に参加できる工夫をしていきたい。また、国家試験においても本科目は最も基礎となる科目でもあることから、オンライン型システムを活用し繰返し練習問題に取り組める環境作りなど、より個々の理解度や反応に配慮した授業展開になるよう意識していきたいと考えている。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		食事摂取基準概論	86名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

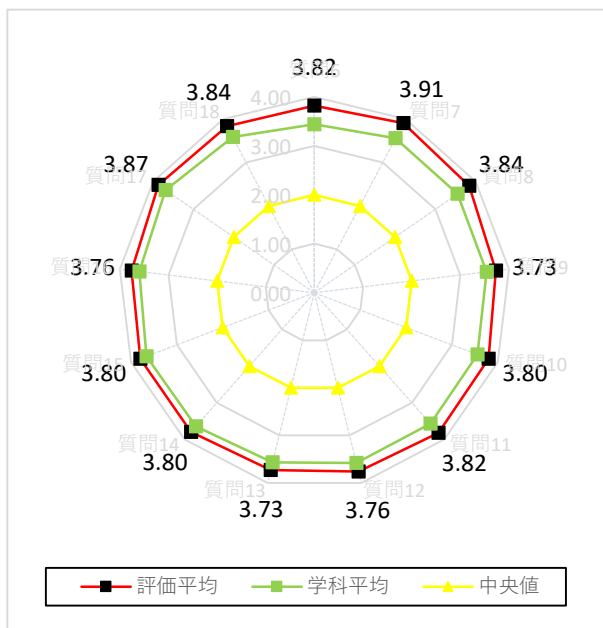
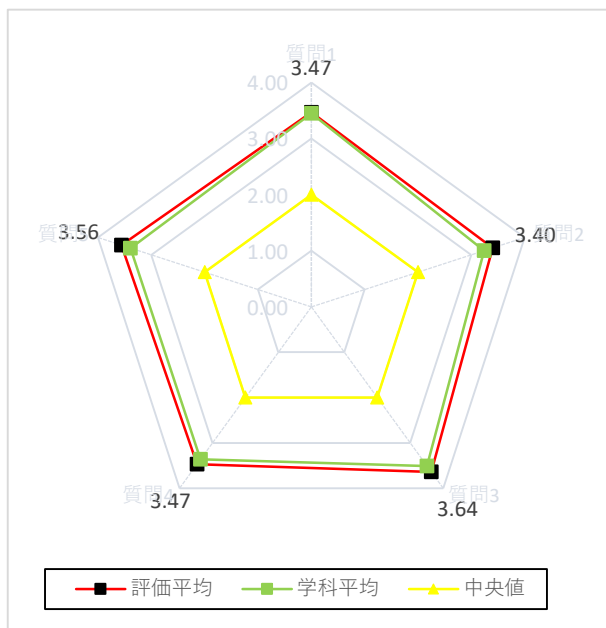
食事摂取基準概論の授業評価においては、すべての項目において、学科平均と同じレベルにあった。個別コメントにおいても、配布資料などを活用し自学学習にも役立った様子が見られることから、おおむね満足できる内容であったと考えている。しかしながら、学生によっては理解度に差があると考えられるため、個々の理解度や反応に配慮し、より双方向的な授業となるよう改善の余地はあると思われる。

### (3) 次年度に向けての取り組み

本科目は多くの学生の苦手とする科目であることや学生によっては理解度に差があると考えられるため、学生個々の表情や反応について適宜確認する（遠隔時には、反応ボタンを細やかに活用する）など授業スピード等学生の理解度に配慮しつつ、意欲的に参加できる工夫をしていきたい。また、国家試験においても本科目は頻出事項でもあることから、オンライン型システムを活用し繰り返し練習問題に取り組める環境作りなど、より個々の理解度や反応に配慮した授業展開になるよう意識していきたいと考えている。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		応用栄養学実習	80名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

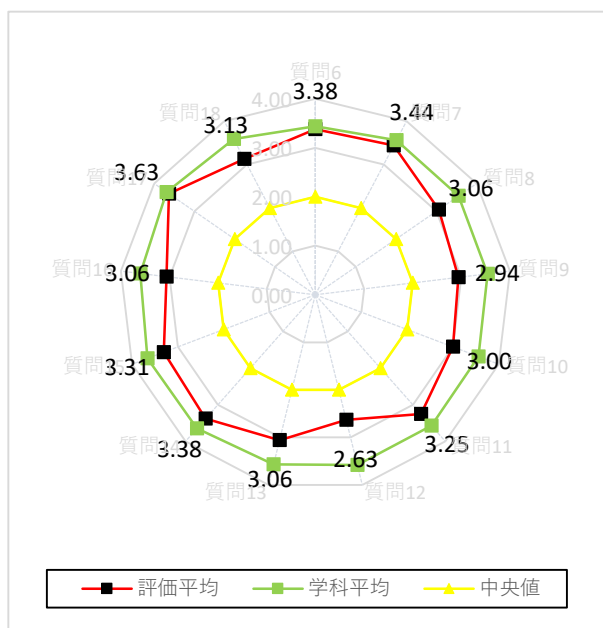
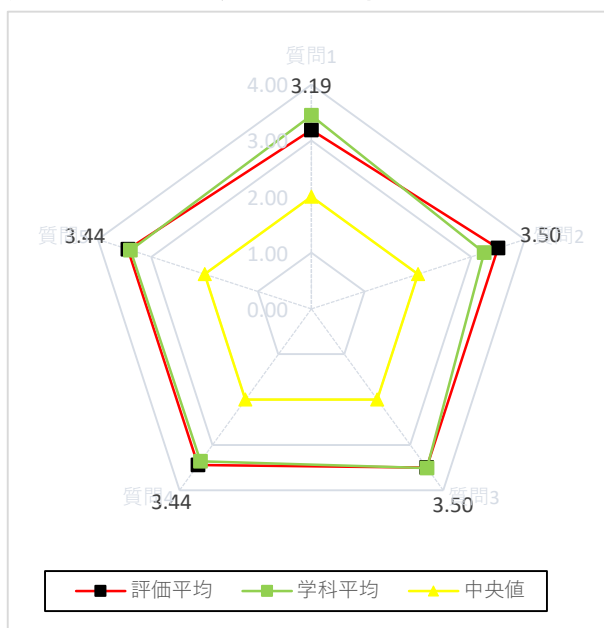
応用栄養学実習の授業評価においては、授業アンケート回答率が低いことによる分析には偏りがあるものの、すべての項目において学科平均より少々上回る評価を得られた。また、学生からのコメントには「自分で考えることができた」「楽しかった」という声かけを頂いていることから、おおむね良好な内容であったと考えている。とはいえ、本授業は学生自身が考え、課題を発見し・解決策を見つける展開を重視しているため、学生によっては“正解”というものが無いスタイルが合わず、苦手とする学生もいるものではないかと思われる。学生誰もが楽しく、自主性や知的な問題に取り組む姿勢の向上が達成できるよう、学生個々のレベルに応じた授業取り組みのための改善は必要であると考え。また、授業アンケート回答率の低い一因としては、授業時間内での実施が叶わなかったことにあると考える。

### (3) 次年度に向けての取り組み

応用栄養学実習はグループワークを中心とする実習を主とする科目であるので、より意欲的に参加できる授業内容になるよう授業展開を工夫していきたい。また、個々の理解度や反応に配慮し、一人一人に積極的に声かけ、アドバイスを心がけることで、問題解決能力がより高まることを期待したい。さらには、授業アンケートへの回答率が低いことから、授業開講期間（かつ授業時間）内での回答が出来るようシステム変更を試みることや、授業内で回答する時間を設ける場合、授業最後ではなく授業開始時に行うあるいは回答状況を適宜チェックする等の工夫が必要と考える。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		臨床栄養学	89名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

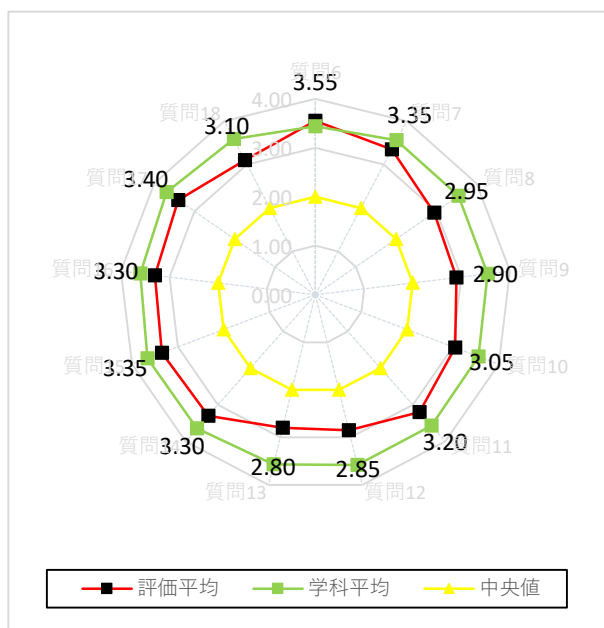
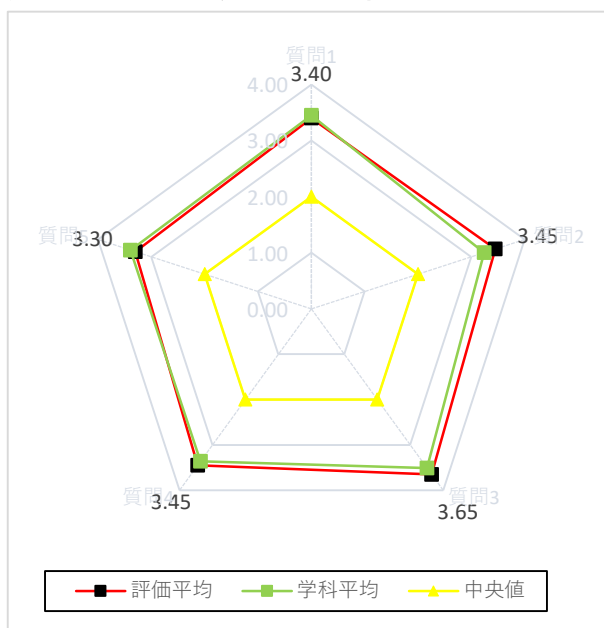
学生の声を真摯に受け止め改善します。

### (3) 次年度に向けての取り組み

学生の声を真摯に受け止め改善に努めます。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		臨床栄養学実習	90名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

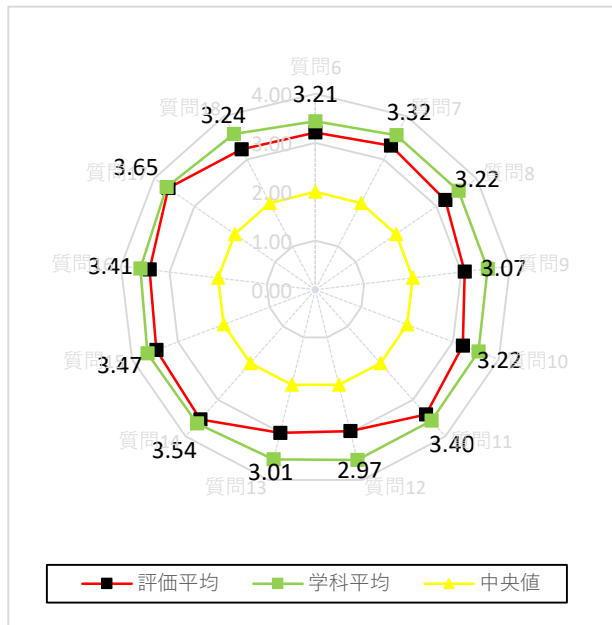
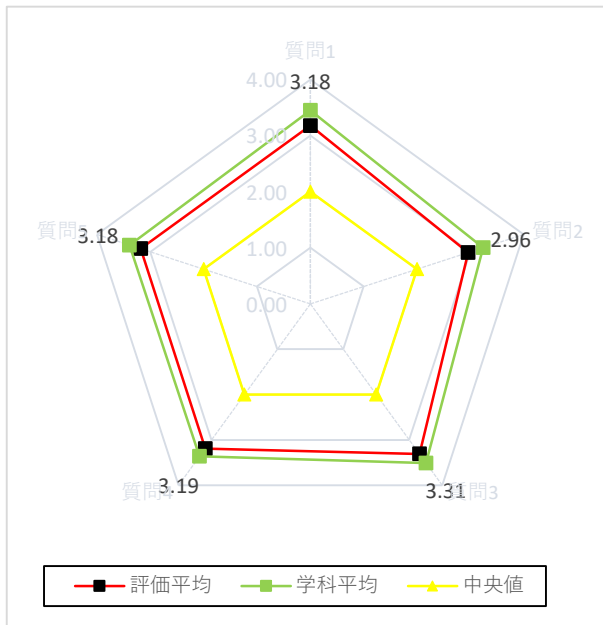
学生の声を真摯に受け止め改善に努めます。

### (3) 次年度に向けての取り組み

学生の声を真摯に受け止め改善に努めます。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		臨床栄養管理学	86名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

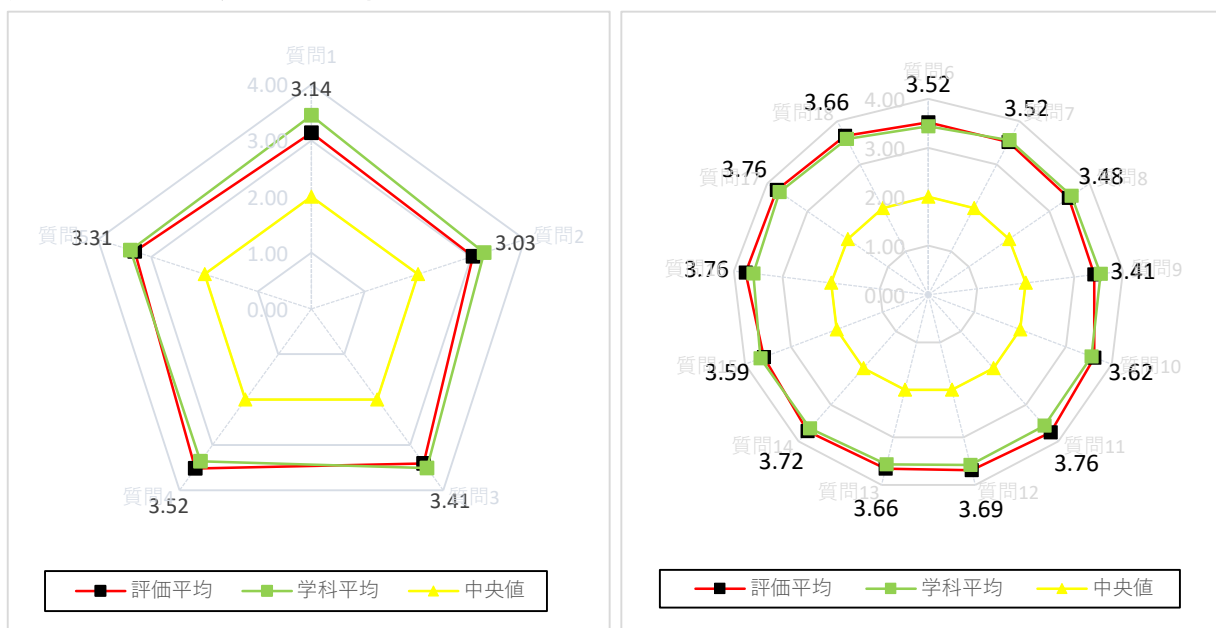
学生の声を真摯に受け止め改善に努めます。

### (3) 次年度に向けての取り組み

学生の声を真摯に受け止め改善に努めます。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		公衆栄養学 I	89名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

全質問項目について、学科平均と大きな差は認められないが、授業の欠席について（質問1）について、学科平均より悪く欠席が多かった。

授業の方法、内容については特に問題なかったと考える。

1限目開講の授業であったため、欠席、遅刻が多かった。また、毎回資料を配布したが、資料さえ手にいれれば試験に合格できると考えた学生も多かったと感じている。

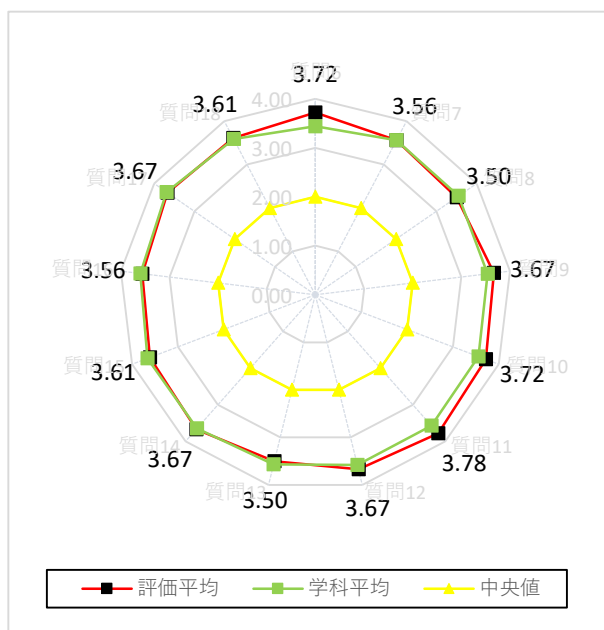
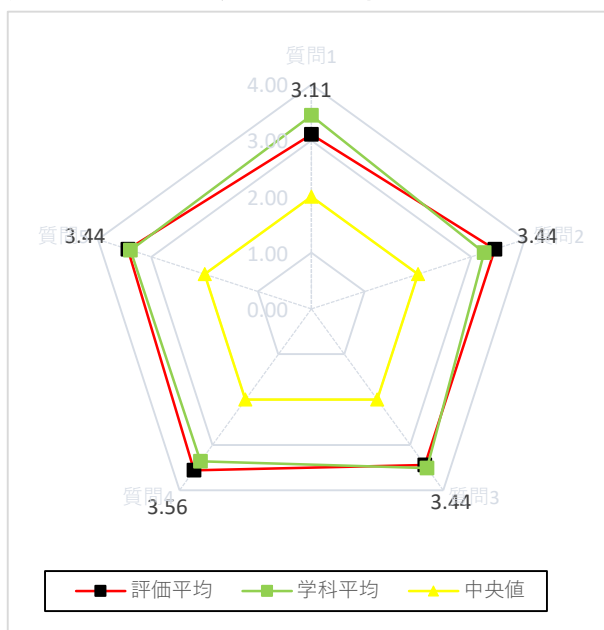
### (3) 次年度に向けての取り組み

毎回配布する資料は、授業に出席しなければ理解できないような内容に工夫する。

また、授業内容に興味を持ってもらえるように授業の進め方を工夫する。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		公衆栄養学Ⅱ	90名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

全質問項目について、学科平均と大きな差は認められないが、授業の欠席について（質問1）について、学科平均より悪く欠席が多かった。

授業の方法、内容については特に問題なかったと考える。

1限目開講の授業であったため、欠席、遅刻が多かった。また、毎回資料を配布したが、資料さえ手にいれれば試験に合格できると考えた学生も多かったと感じている。

### (3) 次年度に向けての取り組み

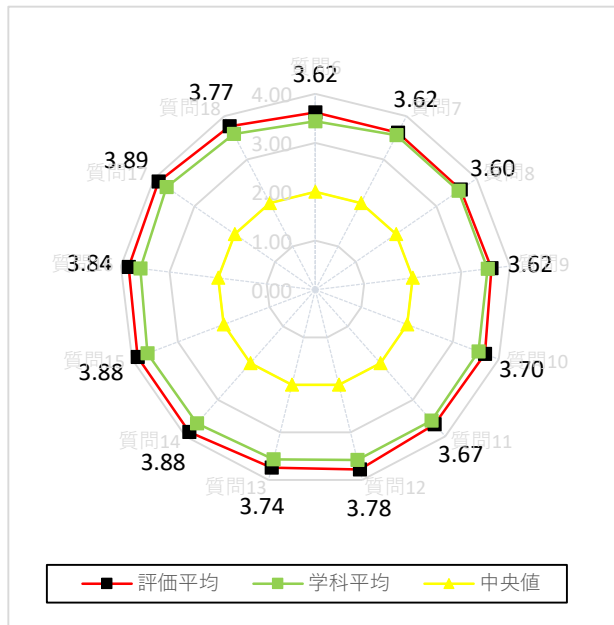
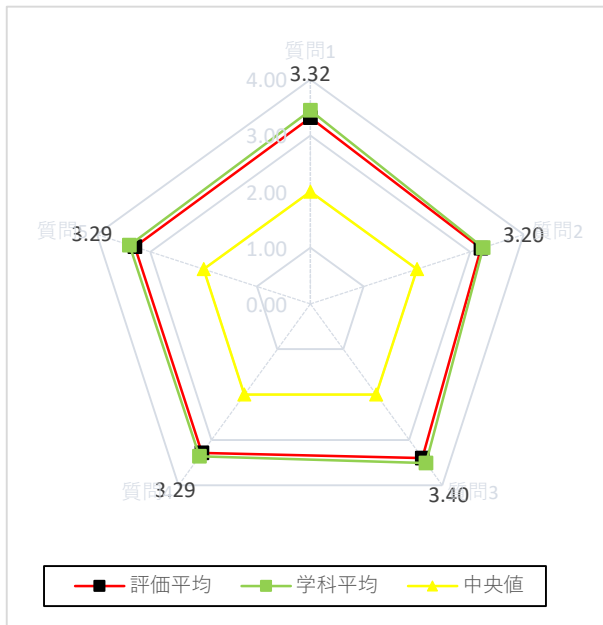
毎回配布する資料は、授業に出席しなければ理解できないような内容に工夫する。

また、授業内容に興味を持ってもらえるように授業の進め方を工夫する。



学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		公衆栄養学実習	85名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

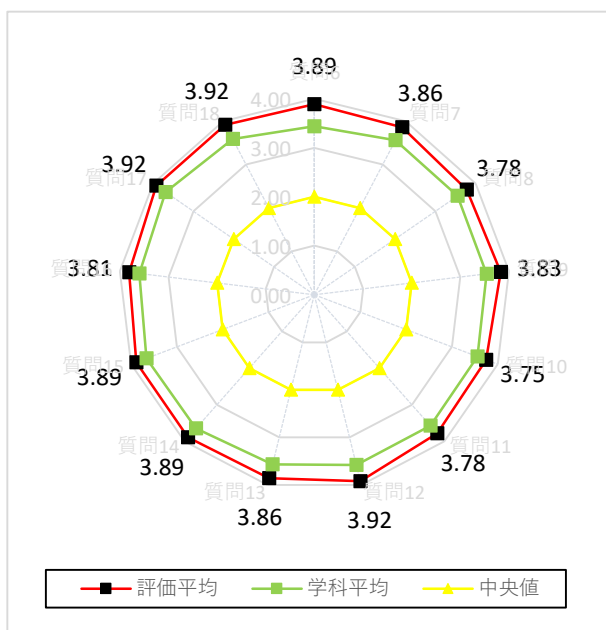
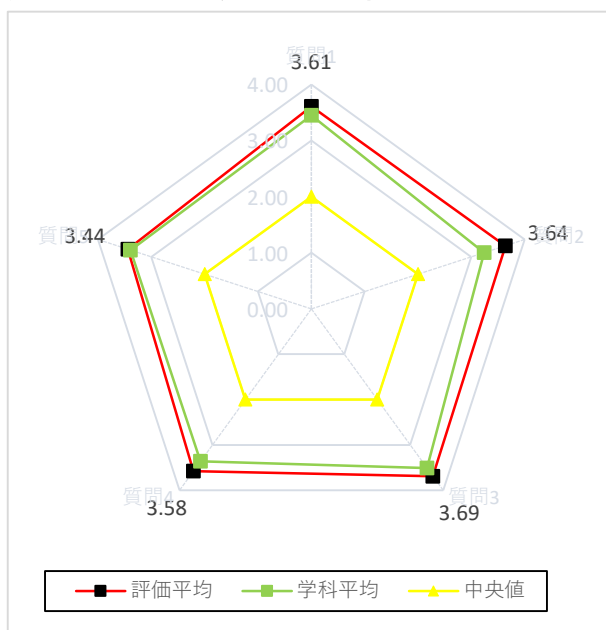
全質問項目について、学科平均と大きな差は認められないが、授業の欠席について（質問1）について、学科平均より悪く欠席が多かった。  
授業の方法、内容については特に問題なかったと考える。

### (3) 次年度に向けての取り組み

シラバスの説明と毎回の授業目標については毎回説明することとする。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		給食経営管理実習	80名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

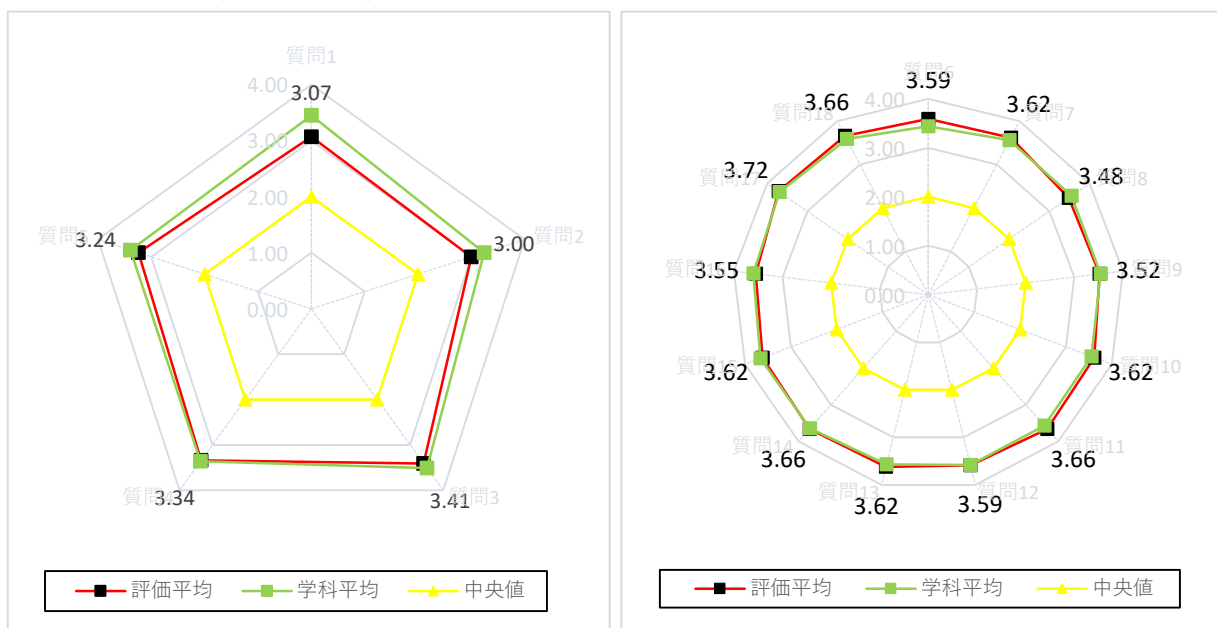
学生の興味関心を引き出すために、様々な授業スタイルを取り入れた授業計画で実施した。また、学生の習熟度に応じて計画の調整、個別指導など柔軟な対応をしたことが、学生の修得度の向上に繋がり、高い授業評価につながったと感じている。

### (3) 次年度に向けての取り組み

来年度も学生の修得度および興味関心を向上させるような授業としていきたい。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		給食経営管理論	94名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

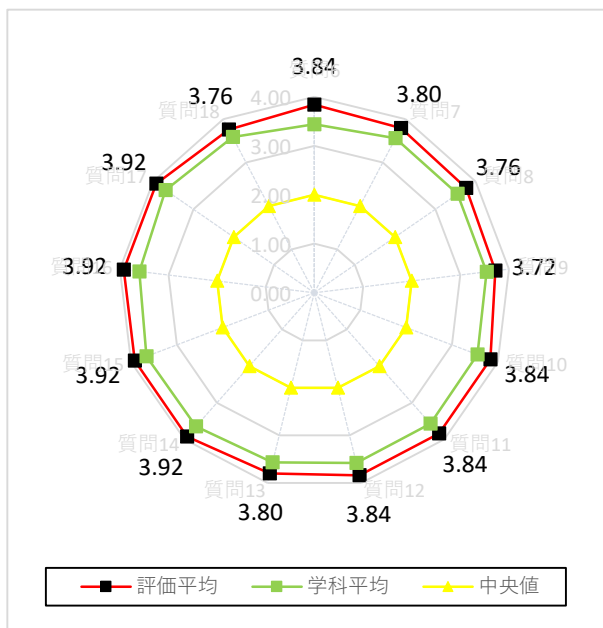
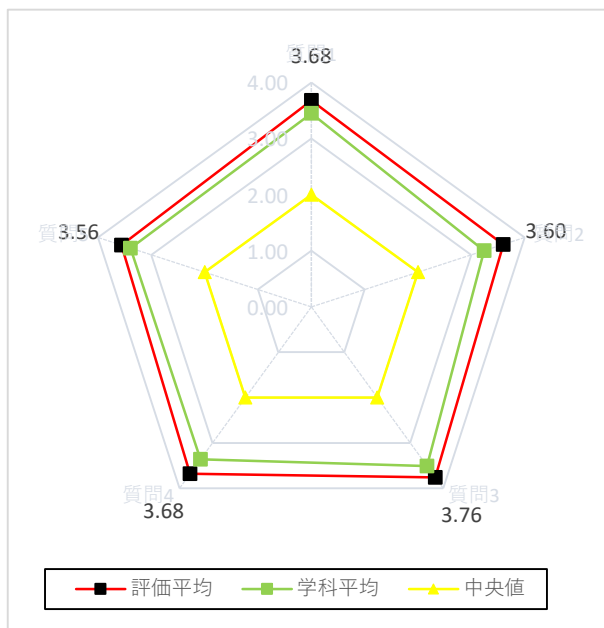
学生の興味関心を引き出すために、様々な授業スタイルを取り入れた授業計画で実施した。同時に、次年度実施の国家試験を視野に入れた授業とすることで、例年担当分野の国家試験の得点率は7割を常に超えている。また、学生の習熟度に応じて計画の調整、個別指導など柔軟な対応をしたことが、学生の修得度の向上に繋がり、高い授業評価につながったと感じている。

### (3) 次年度に向けての取り組み

来年度も、国家試験対策を視野に入れた授業内容および学生の修得度および興味関心を向上させるような授業としていきたい。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		栄養総合演習 I	93名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

臨地実習 I の事前事後指導に当たるこの科目は、昨年度から続くコロナ禍の影響で学内実施を含めならの実施となった。大幅な修正等を余儀なくされることになったが、コロナ禍が続くことも視野に入れながら前年度から計画していたため、高い完成度で授業を振興することが出来た。このことが高い授業評価および修得度に繋がったと感じている。

また例年2名で実施していた当科目だが、今年度も1名での実施となった。その中で、今年度も無事学生の満足度及び修得度は高くなったことは嬉しく感じている。来年度は学生の学習の不利益にならないように欠員補充されることを期待する。

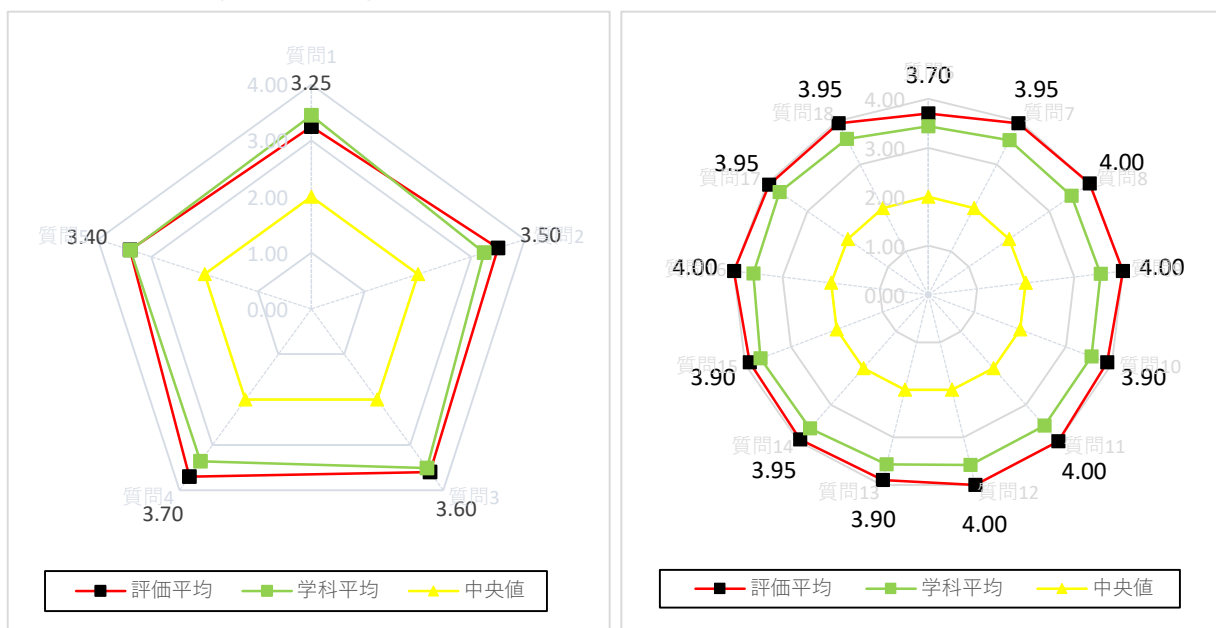
### (3) 次年度に向けての取り組み

来年度は学外での実習を計画しているが、今年度と同様に様々なリスクを考慮して授業計画をし、今年度と同様に学生の満足度及び修得度を高めたい。

また例年2名で実施していた当科目だが、今年度も1名での実施となった。その中で、今年度も無事学生の満足度及び修得度は高くなったことは嬉しく感じている。来年度は学生の学習の不利益にならないように欠員補充されることを期待する。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		化学	48名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

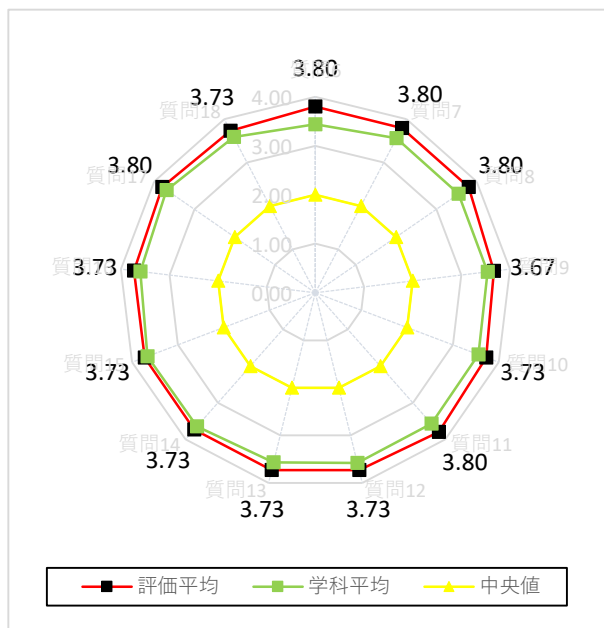
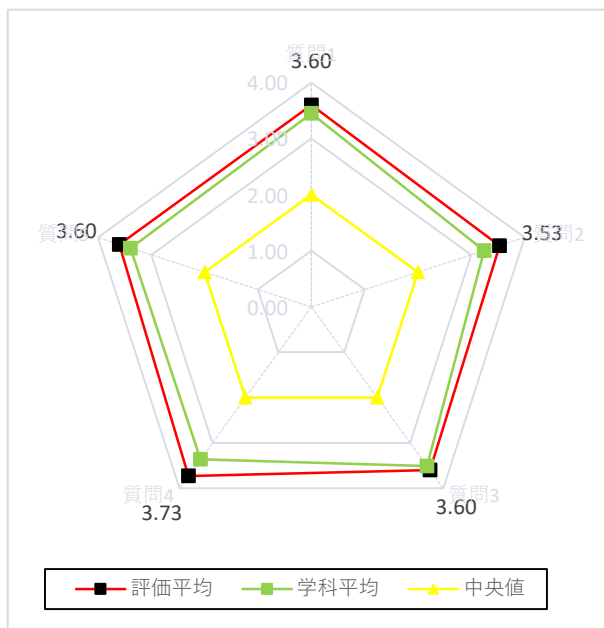
学生による授業評価においては、ほとんどの項目で学科平均よりも高い評価であった。特に、質問8、9、11、12、16は満点の評価であり、総合評価は3.95と高いレベルであった。この授業は、最初の講義でクラス分けテストを行い、習熟度別に2クラスに分けている。私は、高校の時に化学を取っていなかった、もしくは化学を取っていても苦手であった学生を受け持った。化学の基本から、丁寧に教えたことが評価されたと思っている。自由記述でも、「理解できるまで説明されていたのでわかりやすかった」、「声が聞き取りやすかったです」というコメントがあり、高評価であったことがうかがえる。

### (3) 次年度に向けての取り組み

次年度も、習熟度別のクラス分けを行い、熟度に応じた講義を行うこととする。化学は、食品学、栄養学、生化学等の基本となるので、最初のうちにきちんと学ばせる必要があると思っている。しかし、高校の時から苦手意識を持った学生が多いので、最初のうちは学びたくないオーラを出している学生がほとんどである。そこで、なるべく興味を持たせ、丁寧に教えることを心掛けた。例えば、練習問題など実際に問題を解かせ、自分で解けるという自信をつけさせるような工夫をしたいと思っている。次年度も、このような工夫を行い、熱意をもって授業を行っていきたい。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		臨地実習 I (給食管理)	93名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

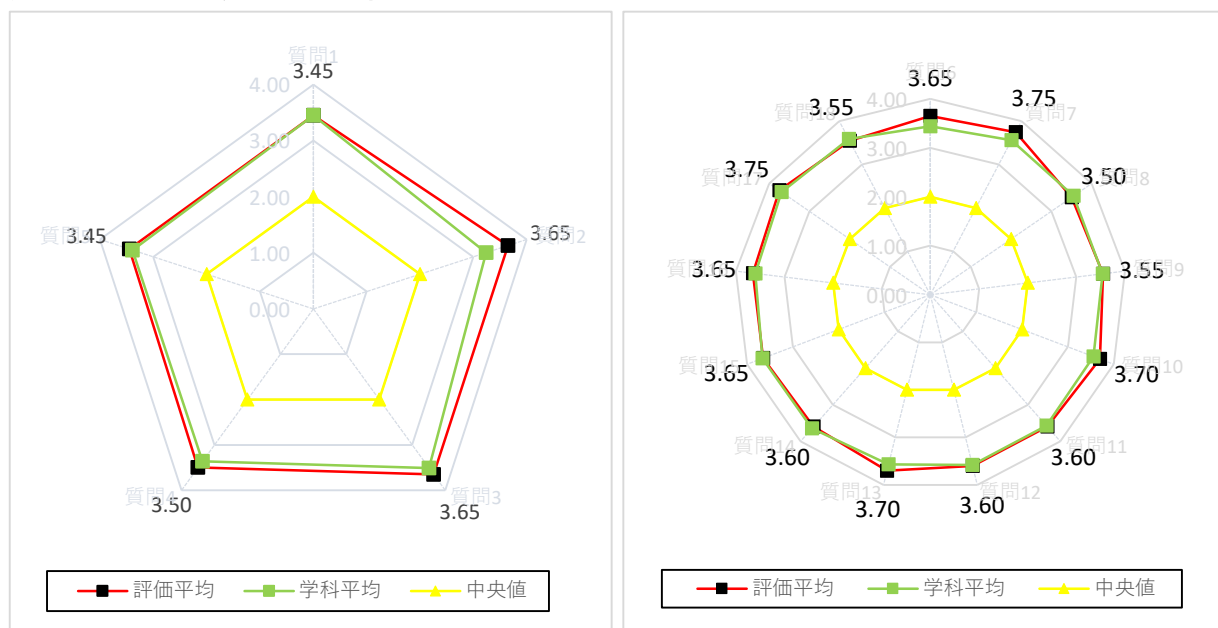
昨年度から続くコロナ禍の影響で学内での実施となった。大幅な修正等を余儀なくされることになったが、コロナ禍が続くことも視野に入れながら前年度から計画していたため、高い完成度で授業を振興することが出来た。このことが高い授業評価および修得度に繋がったと感じている。また例年2名で実施していた当科目だが、今年度も1名での実施となった。その中で、今年度も無事学生の満足度及び修得度は高くなったことは嬉しく感じている。来年度は学生の学習の不利益にならないように欠員補充されることを期待する。

### (3) 次年度に向けての取り組み

来年度は学外での実習を計画しているが、今年度と同様に様々なリスクを考慮して授業計画をし、今年度と同様に学生の満足度及び修得度を高めたい。また例年2名で実施していた当科目だが、今年度も1名での実施となった。その中で、今年度も無事学生の満足度及び修得度は高くなったことは嬉しく感じている。来年度は学生の学習の不利益にならないように欠員補充されることを期待する。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		健栄ゼミ（基礎1）	37名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

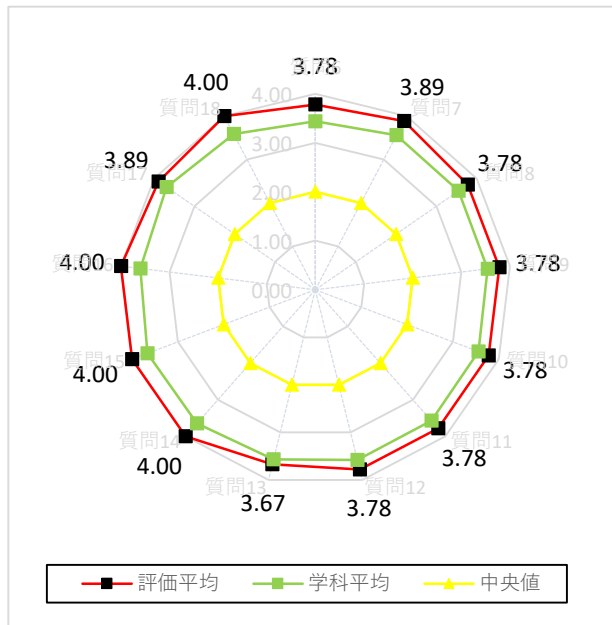
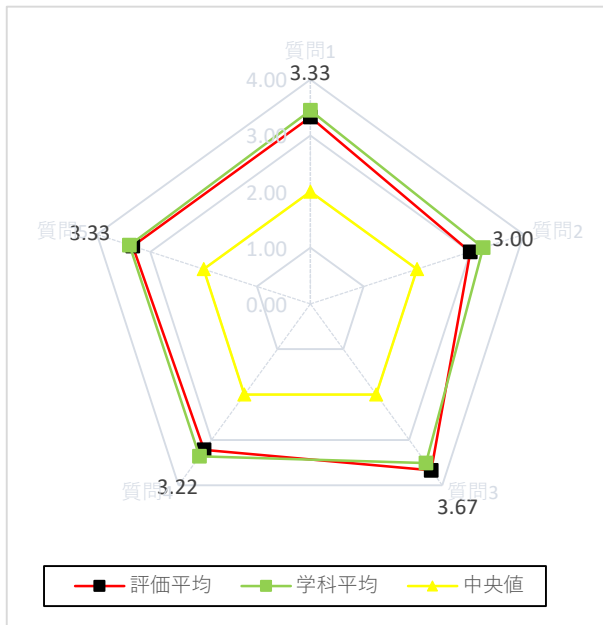
健栄ゼミ（基礎 I）の授業評価においては、各項目において学科平均とほぼ同程度にあったことから、おおむね満足できる内容であったと考えている。しかしながら、本授業は、学生自身が考え、課題を発見し・解決策を見つける展開を重視しているため、当該スタイルを苦手とする学生もいると考えられる。学生誰もが楽しく、自主性や知的な問題に取り組む姿勢の向上が達成できるよう、学生個々のレベルに応じた授業取組みのための改善は必要であると考えます。

### (3) 次年度に向けての取り組み

健栄ゼミ（基礎 I）は、アクティブラーニングを主とする授業であるので、より意欲的に取組める授業内容になるよう授業展開を工夫していきたい。また、個々の理解度や反応に配慮したアドバイスを心がけることで、問題解決能力がより高まることを期待したい。授業アンケートへの回答率については、さらなる向上のため授業内で回答する時間を設ける場合、授業最後ではなく授業開始時に行うあるいは回答状況を適宜チェックする等の工夫が必要と考える。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		健栄ゼミ（基礎2）	29名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

全質問項目について、学科平均と大きな差は認められないが、授業の欠席について（質問1）について、学科平均より悪く欠席が多かった。

授業の方法、内容については特に問題なかったと考える。

演習授業のため、積極的に授業に臨まなかった学生も多くいたと感じる。

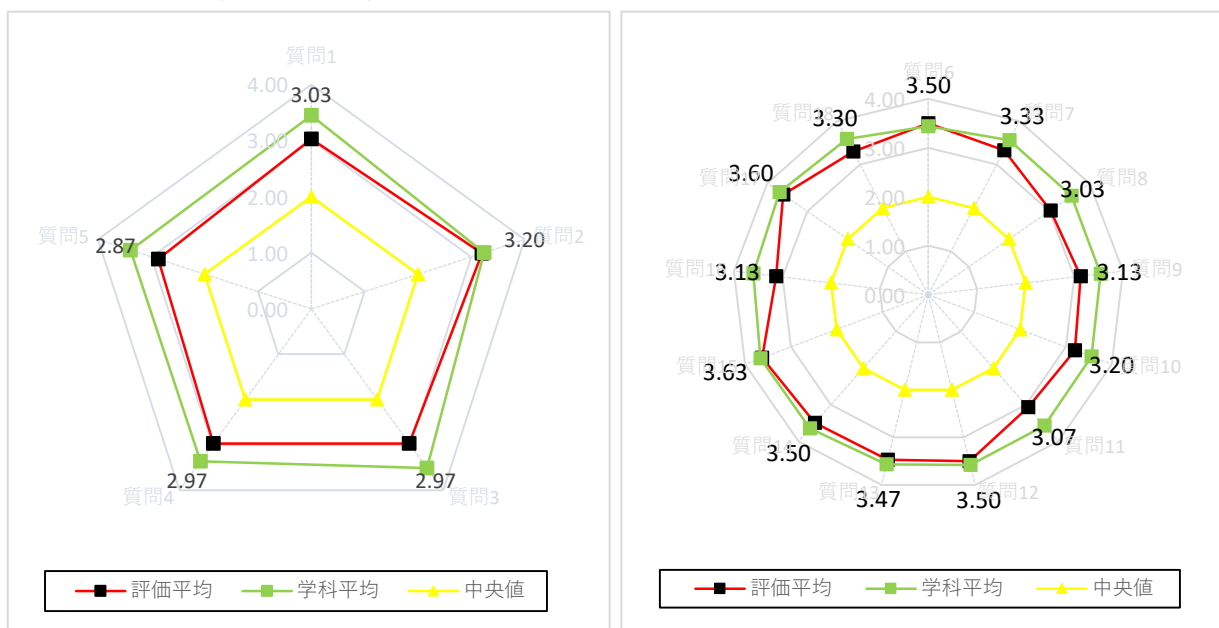
### (3) 次年度に向けての取り組み

今年度初めて開講の授業であったため、次年度は今年度の反省を活かし、学生の積極的な参加を促すようにもう少し厳しく声掛けをする。



学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		運動指導論	31名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

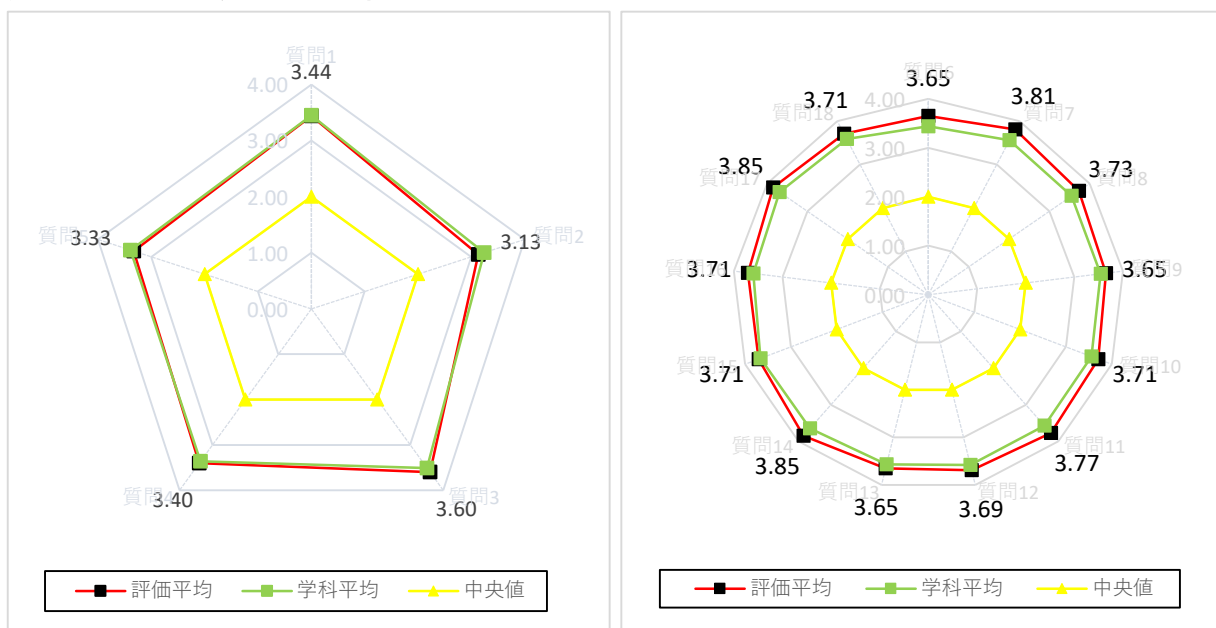
履修学生31名の内30名からの回答を得た。質問1から質問5までの学生自身についての評価については、一部3.0を下回る結果の内容がある。特に、質問3については授業内容の関心等にも関わるものであって、質問8の評価で2を回答した数が少し多くなっていることにつながることである。質問6から質問17の評価については、すべて3.0以上の結果であり、概ね良好と判断する。特に、質問15で評価平均3.63と高い評価が得られたことで、今後も学生対応に真摯に向き合えるよう継続したい。しかし授業への興味や関心が持てる工夫については、今後改善の検討を要するものとする。質問18の総合評価も3.3であった。

### (3) 次年度に向けての取り組み

コロナ禍の状況で一部オンライン授業で実施したり、対面授業でもパワーポイントを使用したスライド中心の授業であったことで、双方向的な授業展開があまりなかった。以前は実技や測定等の演習形態の授業も取り入れ、履修者には好評であった。可能なら、再開して取り入れたいと考えている。また、学生が興味を持ち、将来にも活かせる授業内容や方法をさらに検討したい。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		食品衛生学実験	67名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

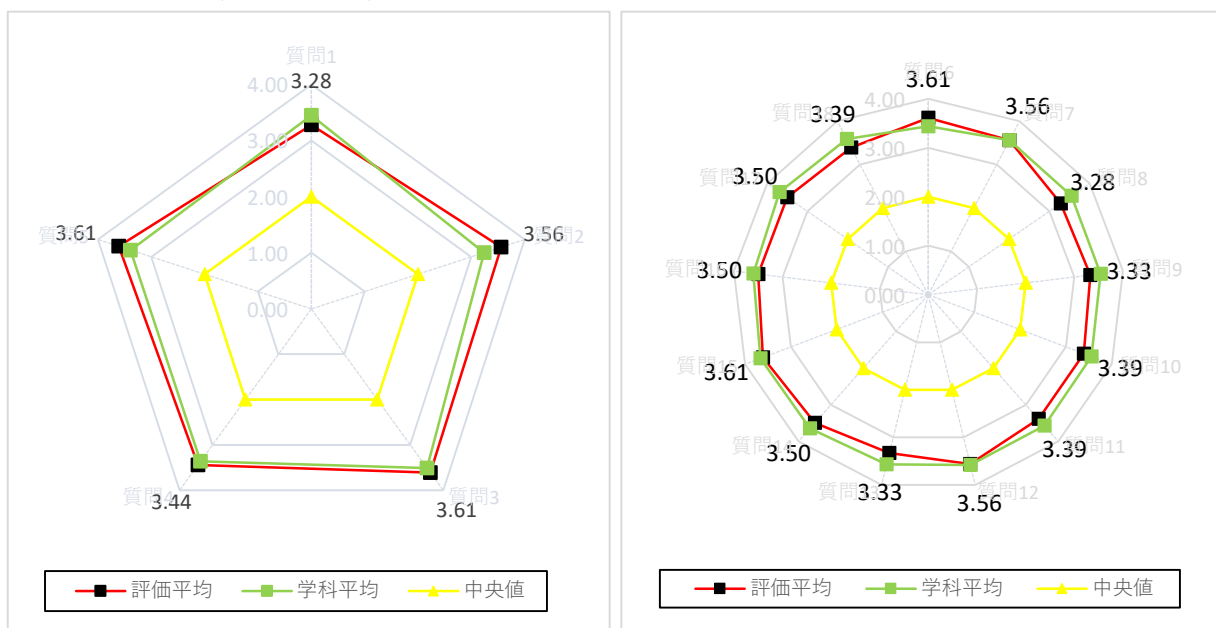
この実験は3クラスに分かれて実施したので、回答率をクラスごとにみると、①クラスは22人中18人の回答があり回答率が82%、②クラスは23人中15人で65%、③クラスは22人中19人で86%であった。全体としては77.6%となり、これまでにない高い回答率となった。これは、今回の授業評価は、授業内に実施したことが大きく影響していると思われる。まず、質問1～5をみると、ほぼ学科平均と同じような値であった。学生は、他の科目と同様な意識で取り組んでいたことがわかる。次に、質問6～18をみると、こちらも学科平均とあまり大差はなかった。細かくみると、質問7と8が高評価となっていた。自由記述でも、「今まで実験が嫌いだったけど、わかりやすいし面白いから理解ができてとても楽しく授業を受けられました」と書いている学生がいた。また、質問14も高評価で、自由記述でも、質問に丁寧に回答してくれると書いている学生が多かった。総合評価も3.71で、この授業は学生から高評価であると判断できる。

### (3) 次年度に向けての取り組み

授業評価が良かったので、今年度実施したように次年度も実施していく予定である。ただ、「自由記述の中に、頭のいい人しか理解できないような言葉のときはよく分からなかったので、もう少し頭の悪い人に対しても分かるように対応してほしいと感じた」と記載している学生もいた。学生の理解力の差がかなりあることは、実験をしていてとても痛感する。本実験は、他の理化学実験とは異なり、これまで実施したことがないことばかりするので、理解力のない学生にとってはより難しいと思われる。そういった学生も理解できるように、言葉づかいやスピード、さらには補助資料などを検討していきたい。また、学生たちは、自分の頭で実験結果を考察するという経験があまりないようである。学生の自由記述の中で、「授業を理解して自分の意見を書くということをあまりしたことがなかったので、すごく自分にとって受けて良かった授業だと思います」と記載している。なので、考察することは難しいことではあるが、将来社会でその力はとても必要であるので、学生に配慮しながら力を身につけさせたい。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		健康栄養学演習 I	88名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

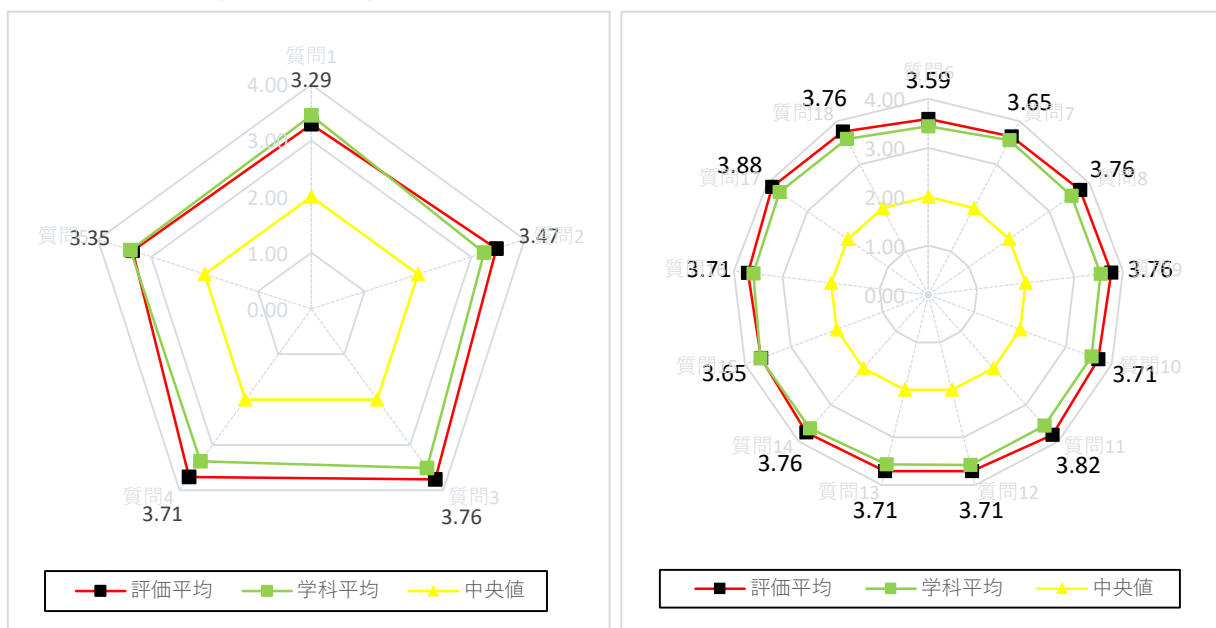
授業評価においては、すべての項目において、学科平均よりも少し悪い評価であった。特に、質問8「授業は興味・関心が持てる工夫がされていたか」、質問11「教科書・配布資料等は役に立ちましたか」が学科平均よりも悪かった。総合評価は、3.39であった。この科目は、管理栄養士国家試験の受験に必要な基礎的な知識を修得することを目的としている。管理栄養士国家試験の全体像と特徴を把握し、受験のための勉強の方法を身に付けさせるため、課題等の提出を通じて、要点のまとめ方や、教科書・参考書の利用方法を学ばせるものであった。学生にとっては、初めて国家試験の問題に触れる機会となり、難しく感じたのかもしれない。この授業は、10名の先生方がオムニバスで行うものであったが、先生方の授業のレベルややり方が統一されていなかったため評価が悪かったのではないと思われる。「一部の授業で、答えのプリントを配布されても、何故そのような答えになるのかの解説が記載されていなかったり、調べても出てこない問題であったので、全て正文化するのに時間がかかった。解説が欲しいです。」という自由記述があり、今後の反省としたい。

### (3) 次年度に向けての取り組み

次年度は、この科目はなくなり、別の科目としてリニューアルするので、この機会に内容を見直したい。評価が悪かったのは、オムニバス授業で教員により授業のレベルややり方が統一化されていなかったことが考えられる。学生が初めて国家試験に触れる機会となるため、基本的なことから教えるように工夫したい。しかし、一人の教員のコマ数が少ないので、改善がなかなか難しいが、担当教員で話し合って内容を検討したいと考えている。先生方の工夫により、この授業の評価が高まるようにしたい。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		健康栄養学演習Ⅱ	82名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

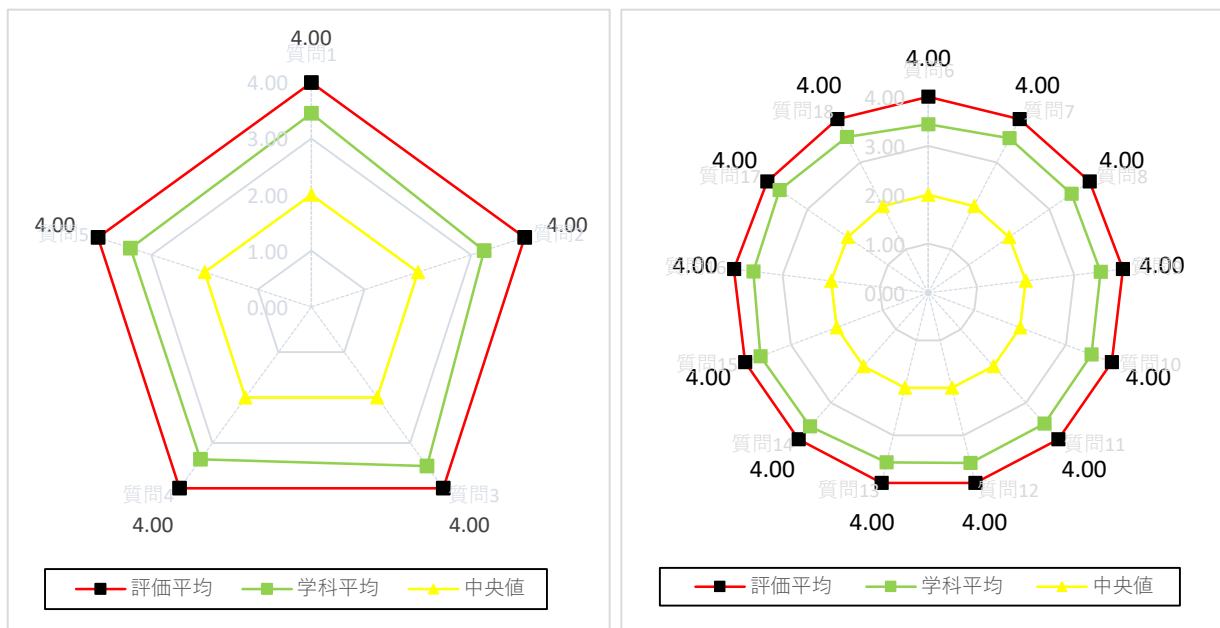
授業評価においては、すべての項目において、学科平均と同じレベルにあった。おおむね満足できる内容であったと考えている。国家試験に関連した内容であり、学生の取り組みも真剣であり、成果は十分に上がっているように感じている。オムニバスの授業であるので、それぞれの教員の授業に対する取り組みは明らかではないが、総合した評価として学生の満足度が高いことから、うまくいっているように考えている。

### (3) 次年度に向けての取り組み

国家試験に関連した内容であり、学生にとって難解に感じる場所もあると考えられる。この点については、4年時に関連した授業がたくさんあることから、十分に補えると考えられる。また、オムニバスであることから、一人の教員ができる内容が限られているが、この点についても、4年時に関連した授業がたくさんあることから、十分に補えると考えられる。いずれにせよ、すべての項目において、学科平均と同じレベルにあり、おおむね満足できる内容であったと考えている。効果を上げるために改善の余地はあると思われるが、それぞれの教員が各自の専門分野で、毎年工夫を重ねているので、より評価が高まることを期待したい。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		食品の創製ゼミナール	2名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

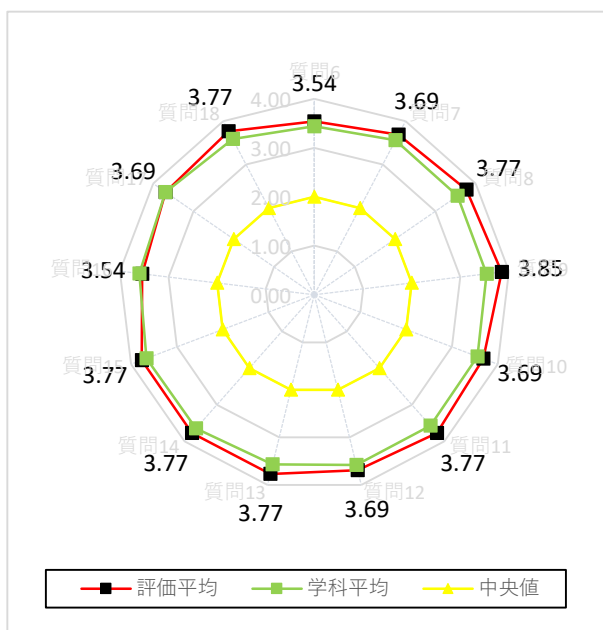
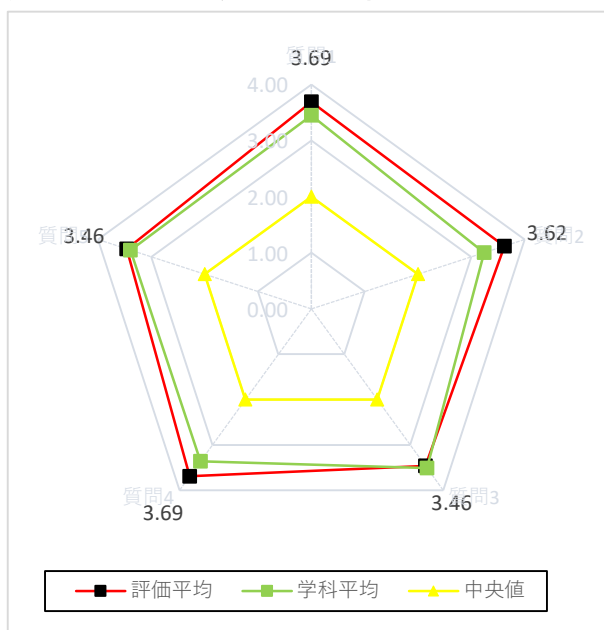
今年度は、受講者が2名と少なかった。ハンドクリームの開発を産学官連携で行うプロジェクトの参画させる授業であった。学生がプロデューサーとなり、大人の会議に入ってプレゼンしたりと、とても内容の深い、大変な授業だったと思う。また、学生主体によるガバメントクラウドファンディングで資金集めをするなど、とても貴重な体験だったと思われる。評価は、1名のみ結果であったが、すべての項目で満点であった。とても、充実した授業だったと思われる。

### (3) 次年度に向けての取り組み

次年度は、もう少し受講者を増やす努力をしたい。また、1つのプロジェクトの内容が深く、教員側の負担が高いので、斎木先生と分担して効率的に行うような工夫をしたい。実際に産学官連携で商品開発を行う授業なので、挫折しそうになる学生もいるので、学生のモチベーションを上げるようにしたいと考えている。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		食品機能学	39名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

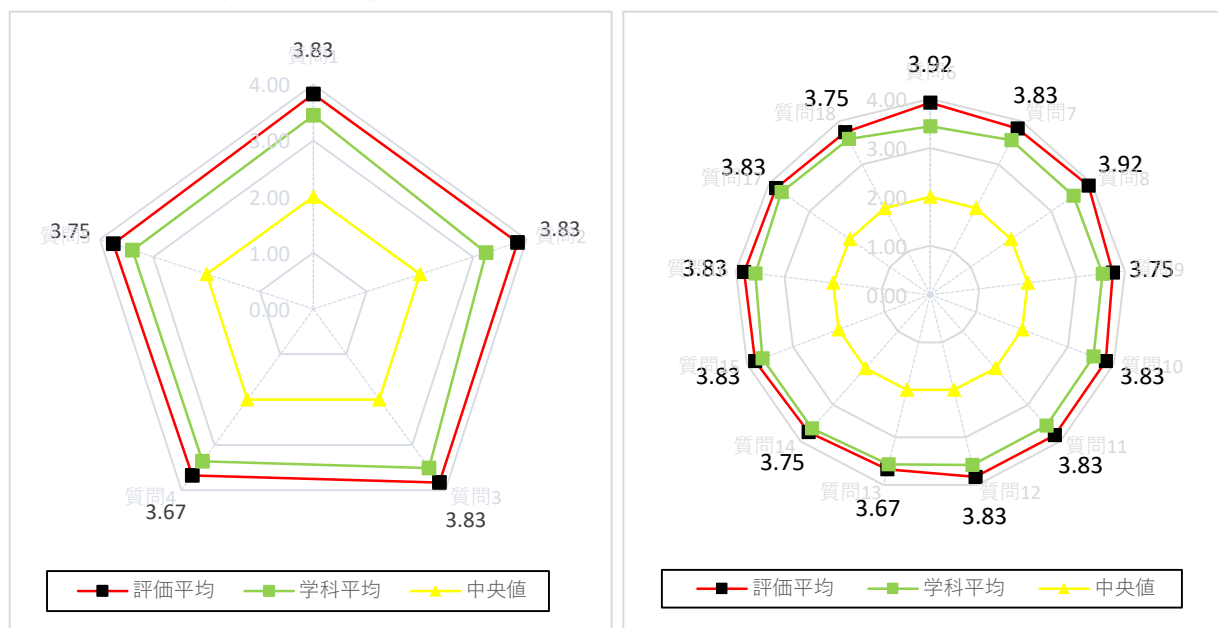
学生による授業評価においては、ほとんどの項目で学科平均よりも少し高い評価であった。特に、質問8「授業は興味・関心が持てる工夫がされていきましたか」、質問9「授業は分かりやすくする工夫がされていきましたか」の評価が学科平均よりも高い値であった。総合評価は3.77と高いレベルであった。この授業は、選択講義であるが、内容は国試レベルである。なるべくパワーポイントの資料を分かりやすく工夫している。毎回授業の最後に復習プリントでまとめさせ、さらに、Teamsで課題を与えている。授業の準備にかなり時間を取られるが、学習効果を高めるために努力を行っている。これが、学生に対して高い評価を得たとの思われ、やりがいを感じている。

### (3) 次年度に向けての取り組み

次年度も同様の授業を行っていきたいと感じている。パワーポイントを使って説明する時間が長いので、居眠りをしないように質問をしたりと、双方向の授業となるよう工夫したいと思っている。この科目は、国家試験の範囲でもあるので、学生に対してそのことを伝えながら、重要なポイントを押さえながら授業するよう心掛けたい。課題のチェックなど大変であるが、なるべく効率的に行うよう努力したい。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		地域の食産業	41名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

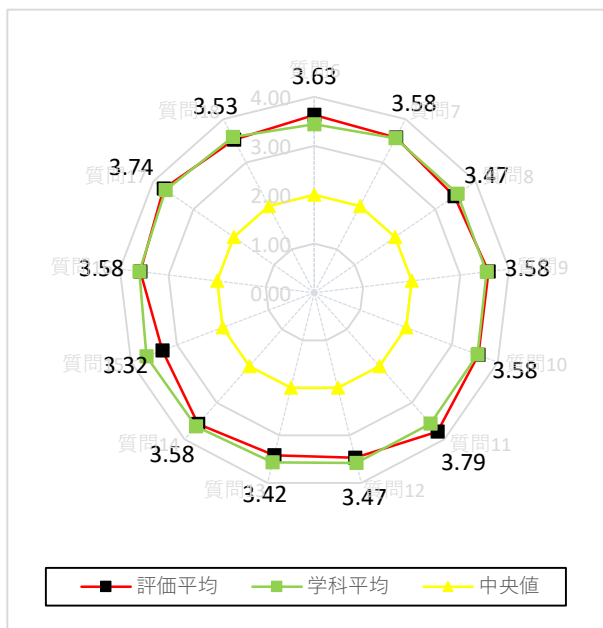
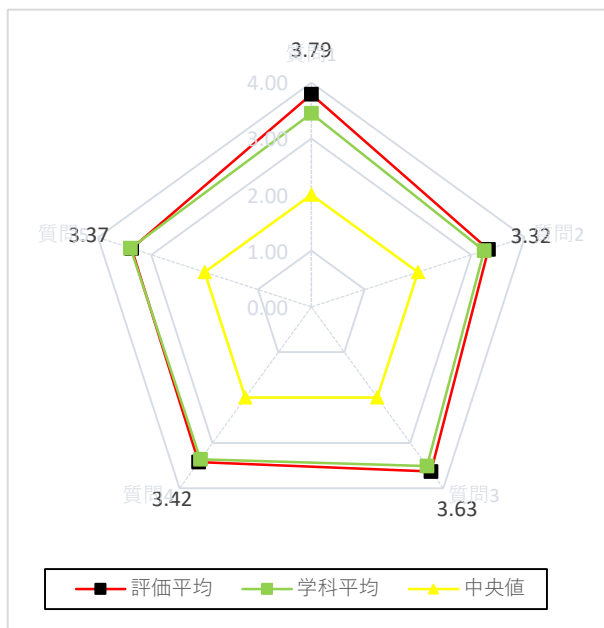
学生による授業評価においては、ほとんどの項目で学科平均よりも高い評価であった。特に、質問7「教員は授業の到達目標を明確にして、授業を展開していましたか」や質問8「授業は興味・関心が持てる工夫がされていましたか」が学科平均よりも高い評価であった。総合評価は3.81と高いレベルであった。この授業は、6名の外部のゲストスピーカーによる講義があり、現場の商品開発のやり方やマーケティングの方法などの話で、学生たちも興味をもって受講してくれたのだと考えている。また、バーチャルであるが、グループで商品開発を行うの特徴である。授業では、会社名を決めさせ、社長、営業部長、経理部長など役割分担をして、会社内で新商品の開発を行うことを想定させる。実際に、企画会議を行い、最終的にプレゼンテーションをおこなって、みんなで採点させ、その点数が評価の一部となる。アクティブラーニングの講義で、学生にとっては新鮮で興味深い内容になっていると思われる。

### (3) 次年度に向けての取り組み

今年度の評価が高かったことから、次年度も同様の内容で行いたいと考えている。ゲストスピーカーの日程調整が大変で、Webで行った方もいらっしまった。なるべく対面で、双方向のやり取りがしやすいように調整したい。また、グループ内の話し合いがうまくいかないところがあり、相談があったが、これも勉強の一環と言ってコミュニケーション能力や協調性を上げるようにした。グループによって商品開発に対する熱意が異なったため、昨年は中間発表の順位を公表して、やる気を出させる工夫を行った。その結果、最終プレゼンではとても頑張っていたので、今年度もこのようなやり方を継続したい。最近、食品企業に就職したいという学生が増加しており、この授業の受講者も増えてきた。商品開発の面白さと大変さを伝えていきたい。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部 健康福祉学部 看護学部	健康栄養 スポーツ健康福祉 看護		特別の支援を要する児童・生徒の理解	57名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

この授業は、健康栄養学科、社会福祉学科、スポーツ健康福祉学科、そして看護学科にて教員免許状の取得を希望する教職課程履修希望学生の必修科目であり、これまで学校現場で特別支援教育に携わっていた実務家教員2人が担当している。今年度もコロナ禍で、Teamsを用いた遠隔授業を行った。

一部の学科で回答率が低かったのは、授業評価期間が8回の授業終了後に設定されており、授業担当教員が関わらなかったことが原因と考える。また、全体的に授業評価は概ね良かったが、質問15が一部の学科で若干低かった。これは、授業開始前に2回教科書購入を促したが、授業が始まって教科書を購入しない学生がいて、購入手段を示し5月の連休明けにやっと教科書購入が揃う状況であった。学習意欲につながることを説明した教員の発言を、一部の学科の学生が不公平と感じたようで残念であった。授業開始前に教科書を購入し、予習をして授業に臨むように指導していきたい。

さらに、早い時期にレポート未提出（欠席扱い）が続き、定期試験受験資格の失墜も見られた。レポート課題の作成については丁寧に説明を行ったが残念であった。次年度の課題としたい。

### (3) 次年度に向けての取り組み

来年度もTeamsを使った授業展開を予定している。教科書購入に関しては、授業前から数回アナウンスをし、授業前に購入するよう働きかけていきたい。

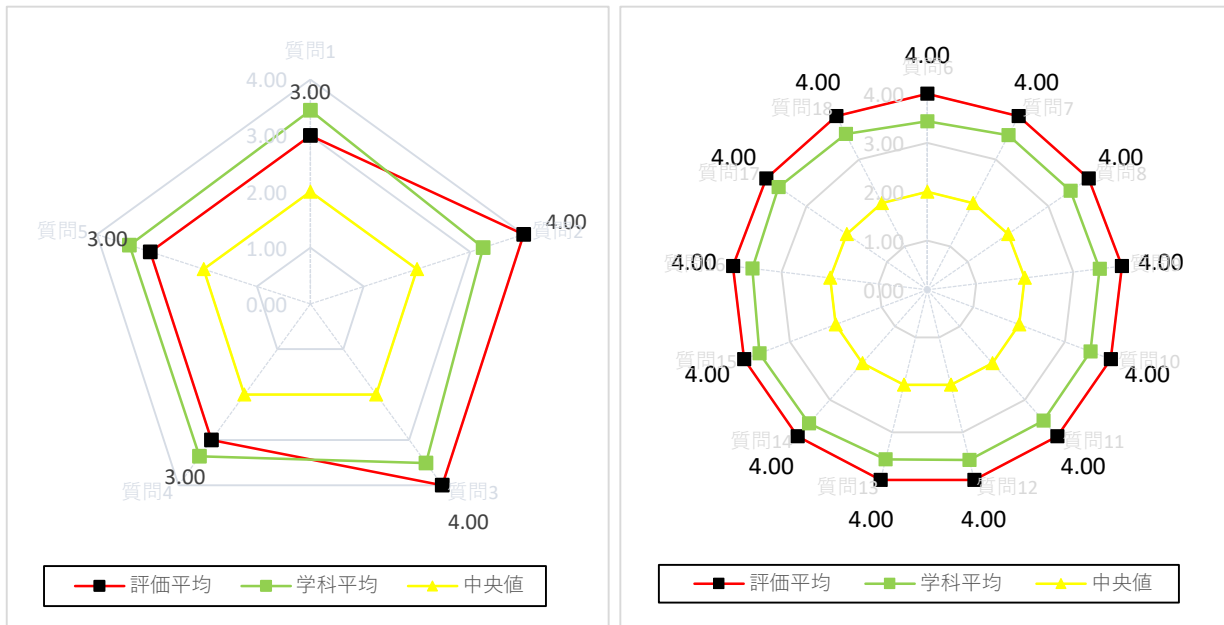
そして、授業の最初にシラバスの提示とレポート課題の意図している内容や剽窃行為の禁止、定期試験の受験資格等について提示を行い、折に触れて確認を重ねていきたい。授業評価アンケートの入力に関しても、授業最終日に実施できるようにしていきたい。

さらに、引き続き課題や配付資料を工夫しながら、特別支援教育の概要や、通常の学級・特別支援学級・特別支援学校に在籍する発達障害を含む障害のある児童生徒の理解が進むように授業を行っていきたい。



学部	学科	担当者	科目名	履修者数
健康栄養学部	健康栄養		教職実践演習（栄養教諭）	6名

### (1) 学生による授業評価結果



### (2) 結果の分析と評価

授業評価対象外の科目としていたため、1名が回答した内容のため、全体の分析・評価はできない。

### (3) 次年度に向けての取り組み

授業評価対象外の科目としていたため、対象となる内容記載はない。